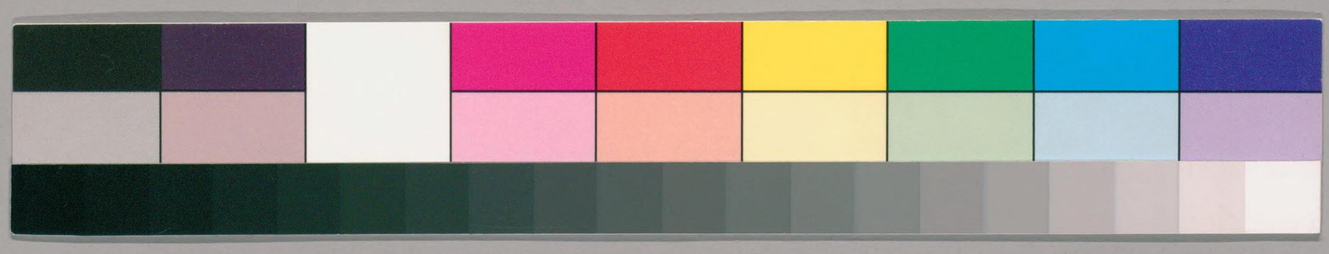


# 舍密開宗

1
855

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『舎密開宗　内篇1-18外篇1-3』　請求記号　特1-855

舍密開宗

特1
855

27 7.14

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855

ガラス使用

特 1
855

# 舍密開宗

宇田川榕菴譯

五篇

本店開在淺草城門外黃茅街朝東宇田川先生三世著篇製本俱全凡四方君子賜雲顧者須認每部印章方是正本如有僞印者男盜女娼書肆青藜閣主人謹白

舍密開宗内篇標目

○卷十三

第二百八章　銅　酸化銅　異重　○附錄燒銅
第二百九章　硫酸銅　煅燒銅　黑釉方　綠釉二方
第二百十章　硫酸諳摸尼亞銅　黑酸化銅泉　磏礬　治癩効能
蒲龍斯勿乙古綠製法　試砒毒法
第二百十一章　消酸銅　○附錄水銅　諳尼利亞ヽ斯
第二百十二章　鹽酸銅　刺實加列亞絶應
第二百十三章　醋酸銅　銅綠　○附錄黃銅　白銅匙　敦拔加火燧
第二百十四章　銅和ス硫ニ黃



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

鏡千里鏡之鏡料　鏡料煩料
鑄活字料　烏金等凡銅他金和合
第二百十五章　鉛及酸化　異重　五等酸化
鉛丹　鉛玻瓈
第二百十六章　消酸鉛
第二百十七章　鹽酸鉛
第二百十八章　硫酸鉛
第二百十九章　酸化鉛鹽酸曹達和劑　密捏剌列黃陶器
瓷油方　納波利亞黃方
第二百二十章　鉛粉
第二百廿一章　醋酸鉛　○附錄流動醋酸鉛　鉛樹說
第二百廿二章　鉛之隱顯墨　○附錄鑄小活字料　亞鉛和金
第二百廿三章　錫　異重　延張性　○附錄鍍錫法
第二百廿四章　酸化錫
第二百廿五章　硫酸錫
第二百廿六章　鹽酸錫
第二百廿七章　消酸錫
第二百廿八章　利拔喜烏斯發烟精
第二百廿九章　沈降色分性　涂ル猩紅絨一法　○附錄　錫ニ鹽　緲西加爾臥
烏度加里液說　錫溶
○卷十四
第二百三十章　亞鉛　異重　蒸餾性　亞鉛華　含亞鉛水素尾斯

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

第二百卅一章　硫酸亞鉛
第二百卅二章　亞鉛爆性　火箭ノ劑
第二百卅三章　蒼鉛　異重　細末ニ亞鉛ヲ法
　　烊解度
第二百卅四章　消酸蒼鉛　蒼鉛白
第二百卅五章　蒼鉛他金和性　解剖家之用
第二百卅六章　砒　砒鑛私　黒熔散方　說
第二百卅七章　砒和ス諸酸ニ　○附錄加垤篤之流動燐
第二百卅八章　砒和銅爲白銅
第二百卅九章　白酸化砒　亞砒酸
第二百四十章　砒酸



第二百四十一章　砒和ス亞爾加里　砒酸加里
第二百四十二章　砒和ス硫黄ニ　雞冠雄黄　薫黄
　　石黄　雄黄盃說
第二百四十三章　悉肱列綠
第二百四十四章　安質沒尼　成分
第二百四十五章　私知虎毋　異重
第二百四十六章　鹽酸安質　安質酪　安
　　質沒尼　朱
第二百四十七章　亞爾庵採知散
第二百四十八章　韃爾答律斯粤默知究斯
第二百四十九章　結爾默斯密涅剌列　○附錄金
　　硫化鑛性楂達石　硫化安質酸　安質雜腹蘭　安質沒尼悲波列　眞珠粉　多律毋。安質沒尼

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

第二百五十章　酸化滿俺　還元法
第二百五十一章　滿俺　異重
第二百五十二章　滿俺和酸
第二百五十三章　製酸化鹽酸　理
第二百五十四章　烊和蓬酸曹達
第二百五十五章　鑛性加默良
第二百五十六章　和硫酸燐酸　○附錄鹽酸滿俺
○卷十五
第二百五十七章　箇拔爾多　異重著磁性
第二百五十八章　隱顯墨

第二百五十九章　玫瑰色澱　○附錄箇拔爾多綠
第二百六十章　薩勿爾多　畫燒青　亞修爾青　蕪馬爾多
英圭黎青
花紺青
第二百六十一章　尼結爾　異重　分王分法
第二百六十二章　新金屬　水鉛　烏剌紐母　的
格綸彪母　爾律倫母　斯魯密烏
且答律母
知旦紐母　意利曺母　○附錄撓爾弗剌母
阿斯繆母　羅曺母　巴爾剌曺母
攝列紐母　蒲羅密烏母　伊阿曺母



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

# 舍密開宗内篇卷十三

宇田川榕菴　重譯增註

## 銅第二百八章

（究布律母　加爾里斯ノ一ナル）

銅ハ氣酸ニ酸化ス之ヲ證スルニ銅針（ハリガネ）ヲ磨ノ赤光粲然タラシメ其一端ヲ烙バ火熱ノ達スル遠近ニ從テ針身種ノ色ヲ發ス此レ火力ノ強弱ニ從テ氣酸ヲ受ル度ニ微甚アルナリ備要云銕ハ酸素ヲ受レバ外面則チ唯外面酸化メ其酸素竟ニラズ漸ク内身ニ及フ銅ヲ侵ス莫シ古銅器ヲ以テ之ヲ證ス



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

銅ハ水ニ濡シテ火力ヲ假ルト雖モ其水ヲ分離セズ但鹽酸等ノ酸精ニ浸セバ其水ヲ分離ノ水素尾斯ヲ發（按ニ此章ハ銕、水ニ遇バ酸化ノ其水ヲ又分離スルニ對メ銅性ノ然ラザルヲ說ク）

○銅ハ鑛ヲ爲シ或他種ノ金屬ニ託生ス秤量水ヨリ重キ八倍有奇殆ト九倍ニ瀕シ纓仙蒲耳孤ノ等ニ日本銅ハ餾水ニ比メ一千ト九千ト一ノ如ク雪際亞銅ハ八千七百八十四ノ如ク鑄ルベキ黃銅（按ニ亞鉛多ク鍛スベカラザルハ堅剛ノ、黃銅ヲ謂フ）ハ八千ノ如シ○質堅剛ナルヿ銕ニ亞ク銼刀ニ造テ金銀鉛錫ヲ治ムベシ○粘靭不斷ノ性ハ銕ニ優ル鋼線粗列應蘭土尺十分寸ノ者ハ三百比ノ重物ヲ懸テ斷セズ銕線ノ如此者ハ此重ヲ懸ルト能ハズ○金屬ノ中最モ火ニ爍難キハ白金ナリ銕之ニ次キ銅又之ニ次ク

附錄　燒銅（ゲブランテ、コーパル、カルキ銅灰　コーパルフルミュール酸化銅ヲ、五子リス銅雜腹蘭コロク）

製法。銅葉ヲ線ノ如ク前ノ如ク剪テ甘堝ニ納レ烊化ニ及ザルノ火度ヲ以テ煆キ赤灰トス（按ニ古法ハ硫黃海鹽埋メ煆ク此ノ和劑ヲ以テ銅葉ヲ燒銅ナリ此ヲ再ヒ玻璨窯內ノ餘地ニ置ト四五日ナルトキハ黑粉ト爲ル黑色酸化銅ト名ク又之ヲ前ノ如ク四五日煆バ灰色ノ粉ト



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

爲ル之ヲ三煆燒銅ト名ク此ハ寶石ヲ賽シ琺瑯ヲ
流シ磁器ニ畫ク者ノ必ス需ル所ノ物ナリ黒釉方ハ
燒銅四分
藤馬爾答、鋲落各一分、此劑一分ニ寶多三分ヲ和
ス○暗綠釉方ハ燒銅藤馬爾答ニ寶多ヲ和ス○
淡綠釉方ハ燒銅三分、石綠二分、寶多
ヲ和ス猶第百六十九章ヲ參考スベシ

## 硫酸銅第二百九章

キュプリュム、シルピュリキュム、オキセーダテュム、ヨキスセ
ンデンテ　ブラーウヒット　トリオール青礬　コープ
ルヒットリオール銅礬　ズワーフル
シュレコープル　○漢名石膽、膽礬

銅ヲ醇厚ノ硫酸ニ煮レバ碧色ノ鹽ヲ成シ端正ノ晶或
方晶第十四圖ノ㊁ヲ結ブ之ヲ硫酸銅ト名ク此晶水ニ溶解ス
此溶液ニ苛性或炭酸亞爾加里ヲ加レバ分離メ酸化



銅沈ム苛性亞爾加里ニテ沈タル渣ハ後復タ溶解ス
○硫酸銅液ニ磨キタル鋅片ヲ浸セバ其銅還元シテ
鋅面ニ衣ス按ニ此鋅ニ衣スル銅ヲキュプリュムヲウシ
テュムト云膠銅第百七十章ニ見タリ

㊀廣義云硫酸銅液ニ加里液ヲ和メ沈降歇ニ至リ
沈渣ヲ水洗スレバ綠色ノ粉ヲ爲ス此粉ハ硫酸銅
ノ硫酸炙者ニメ百分ハ黒酸化銅六十八分硫酸十
八分結晶水十四分㊁全飽硫酸銅百分ハ黒酸化銅
三十二分硫酸三十五分結晶水三十五分舍密局方
十一分、酸化銅四十分、結晶水二十九分㊂黒酸化銅百分ハ銅七十五分
云、硫酸三

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

酸素二十五分○備要云硫酸銅ハ銅山ノ銅幾斯ヲ
産スル處ニ自生シ又絹加利亞ノ柔索爾湖中ニ在
リ此湖水ニ久ク銕器ヲ浸セバ其器銅衣ヲ被覇結
爾顯微鏡說云扁舍爾華尼應テ硫酸銅泉アリ泉ト
彬篤ニ銅六錢有餘ヲ含ム又意而蘭大微斯古贏府
銅山ニ銅泉アリ初人誤テ銕灼ヲ其中ニ落メ銅ト
化セリ爾後巧思ノ者アリ此泉ニ銕ヲ浸メ膠銅ヲ
得ヲ創意ヒリ大抵銕條五百敦量ヲ浸メ膠銅一
千敦ヲ得之ヲ爍メ五分一量ノ精銅ト爲ルト云
硫酸諳撲尼亞銅第二百十章

キュプリュムアムモニアト、ラルプリキュム
アムモニアエラムスワーヌフルラーレ、アムモニヌ又
カーレ、コープルプル○庠西箕氏カ名醫彙講ニ所謂碻礬是ナリ
硫酸銅液ニ諳撲尼亞ヲ加レバ初メハ沈渣ヲ生ス益加
レバ其沈渣溶解シテ撒喜爾色碧紺ノ液ト爲ル撲尼亞
銅ノ青色ハ水ニ分散メ其色ヲ傳ルヿ甚シ裴列曰銅
一氏ヲ諳撲尼亞精ニ溶メ一萬八千五百三十四氏ノ
水ニ和スレバ其水著ク青色ヲ發ス二萬八千五
百三十四氏ハ一百五十七分方即二甘ニ近シ

○舍密局方云硫酸銅細末適宜ヲ稀キ諳撲尼亞水
ニ少宛加ヘ毎次振蕩メ溶解セザルニ至リ其美碧
色ノ液ヲ漉シ其液量三分一和蘭局方ニ同容ノ或其餘ヲ加ヘト云ノ亞
爾箇兒ヲ加レバ深碧晶ヲ結ブク按ニ常結晶法ノ如ク煮レバ諳撲尼亞



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

飛散スル故ニ亞爾箇兒ヲ以メ其水分ヲ吸ハシメテ結晶ヲ得ルナリ此ヲ尚十二時間靜定メ上清ヲ傾ケ碧晶ヲ無膠紙ノ間ニ挾ミ乾シ壜子ニ固封シ貯フ」上清ヲ蒸餾メ些ノ酸精諳摸尼亞ヲ含ム燒酒ヲ得ベシ棄テ暴殄スルナカレ○此晶ハ癇ヲ治スル偉効アリ之ヲ燒酒ニ溶シタルヲ丁幾（キエ）尖剌（ヒツトリ）瑟篤里阿里（ヒアリ）ト名ク此丁幾三氏ヲ餾水二錢ニ和シ用フ○砒毒ヲ試ルニ用ル諳摸尼亞銅液ハ硫酸銅液ニ加里液ヲ加テ沈降シ沈垽ヲ水洗シ小格爾弗ニ内レ諳摸尼亞水四倍ヲ加ヘ浸メ深碧色ノ液トシ渣ヲ去リ貯フ

附錄　蒲龍斯勿乙吉綠（ブロンスヴェイキ）一名フリースグルーン

油彩ニ用ル綠色ノ顏料ナリ○製法鹽酸諳摸尼亞三錢ヲ水ニ溶シ銅箔二錢ヲ投シ密蓋メ銅ヲ溶シ綠色ノ澱沈ムヲ候ヒ澄（スマシ）ヲ去リ澱ヲ清水ニテ洗ヒ鹽酸氣ヲ除キ布上ニ漉テ乾ス乾澱凡六錢許ヲ得ベシ卽此綠料ナリ」澄ハ銅分ヲ含メリ棄物ニ非ス貯置テ後來鹽酸諳摸尼亞ヲ溶ス水ニ充ベシ

消酸銅第二百十一章

キプリュムニットリキュム（サルペートルエー）ル、コープル

銅ニ消酸ヲ注ケバ消石厄斯ヲ發メ溶和スヲ消酸



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

銅ト謂フ錫ニ和メ爆鳴スル性アリ按ニ製法、鳴性第九章ニ出

附錄　水銅（ヒドラーテ、デ、キュイフルワートル、コープル）

廣義云。消酸銅液ニ飽マテ苛性亞爾加里ヲ加フレバ美碧ノ粉ヲ澱ス此粉ヲ水銅ト名ク此ニ水、名アル酸化銅ト水ト緊ク密ニ和合スル物ナレバナリ布贏斯多（ブロウストン）云。百分ハ黒酸化銅七十五分。炭酸一分水二十四分ニ成ル

○諳厄利亞斯（アンダアリアス）　偏靖（ペンゼン）ノ類

此ハ水銅ノ類ナリ消酸銅液或消酸銀液ニ銅板ヲ浸シタル綠色ノ上清第百八章ニ生石灰或石灰水ヲ和メ製スル青料ナリ往日（ムカシ）ハ諳厄利亞ノ秘法ナリシガ近日佛蘭西ノ百爾列智兒此ヲ分離ノ製法ヲ曉リ尚且成分ヲ說テ曰百分ハ銅五十分。炭酸三十分。酸素十分加爾基七分。水三分ニ成ル○或云此ヲ用テ涂タル青紙ハ氣ニ觸テ綠色ニ變ス

鹽酸銅第二百十二章

キュプルム、ミュリアチキュム、ソ。ウトミューレ、コーププル

銅ハ溫氣ヲ假レバ鹽酸ニ溶化ス

○廣義云銅屑一分ニ過酸鹽酸須臾分ヲ和シ列篤爾多ニテ餾スレバ須臾還魂メ受器ニ出。銅ハ鹽酸



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ニ和シ拘欒色或赤色ノ華爾斯狀ト爲テ殘ル卽チ鹽
酸銅ナリ細末トシ燭焰ニ摻レハ焰。緑色ヲ爲ス」百
分ハ黒酸化銅四十分。鹽酸二十四分。水三十六分」

醋酸銅第二百十三章

キュプルム、アセチキュム　ゲキリスタルリセールド、コープル　アゼイン　フシュールレ、コープル　アゼイニ

銅緑ヲ餾醋ニ浸シ濾過メ緑液ヲ取リ煮テ結晶セシ
ム其晶ヲ醋酸銅ト名ク世所謂蒸餾銅緑又結晶銅緑
ナリ常ノ銅緑ハ葡萄醋ニテ酸化スル銅鏽ナリ

〇舍密局方云。醋酸銅百分ハ黒酸化銅三十九分醋
酸六十一分ニ成ル此ヲ乾餾スレバ醇烈ノ醋酸ヲ
滴ス之ヲ刺實加列亞（アセイン）絶應（アイン）ト名ク

〇銅緑　シュグアセタス、キュプリ　オンドルアゼイン　チ、カルボニカ緑色炭酸銅　ル次醋酸銅　カル・キス、ヒリ　ーンス、グルーン伊斯把尼亞緑　スパ

ナリ佛蘭西。獨乙ノ府街ニ專匠アリ多ク製メ四方
ニ分販ス其法。銅板數百葉ヲ造リ葡萄酒滓ヲ挾ミ
積ミ時々敗酒ヲ灌キ日ヲ經テ緑鏽ヲ發スルヲ候
ヒ刮ケ取リ水ニ洗ヒ乾ス〇銅緑ハ酸化銅ニシテ
醋酸炭酸。水分。少許ノ生銅分ヲ雜ヘリ

銅和ス硫黄第二百十四章



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

銅屑三分ニ硫黄一分ヲ和シ玻璨管ニ納レ烊セバ火ヲ引テ燃ユ其火焔。鐵ト硫黄和劑ノ焚燒第二百七章ニ優レテ美ナリ○篤隆氏云銅硫和劑ノ焚燒ハ唯光明ヲ綻解シ出スノミ鍊硫ノ焚燒ハ眞ノ焚燒ナリ故ニ酸素瓦斯中ニ在テ焚ルノミナラズ噓噏ニ利アラザル瓦斯窒素瓦斯水内ニ在テモ焚ユ其說予カ舍密手冊八百三十九章。八百四十章ニ詳ナリ

附錄　銅他金和合

黃銅　銅ニ亞鉛ヲ和スル者其品多般ニメ各〻名號アリ亞鉛ハ價廉ナラザルニ因テ爐眼石ニ炭末ヲ和シテ銅ニ鎔和ス

尋常黃銅　銅五分之三。亞鉛五分之二ヲ鎔和ス

彬斯別幾　黃銅一分ニ銅屑二分ヲ坩ニ納レ炭末ニ填メ烊和ス」黃金ノ色アリ

齊密羅爾　又マンヘイメルゴ。ウドト紐氏韻府云或曰銅四分亞鉛一分之和劑。或曰數回精鍊ノ純銅ナリ戒指。頸帶。耳環。時辰標ノ鎖等ヲ造ル年ヲ經レバ鏽ヲ生ス

敦牧加　精銅十二分。黃銅八分ヲ和スル者。二十弓ニ精錫一錢ヲ烊和ス

利應斯金　精銅ニ炭末。亞銅各六分一ヲ烊和ス亦



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

金色アリ線ニ引テ利應斯金線帶ヲ織ルニ用フ

白銅（アルゲント、ハーセ）ハーセルフル　一名猛銀、物理小識ニ云猛銀、白銅ニ而藥煮之　銅六分。砒四分。加里二分ヲ烊和ス色澤。銀ト一般無貳ト雖モ脆メ鎚ヲ受ケズ

白匙（タツト、レープル）銅ニ安質王ヲ烊和ス

支那白銅（支那名パクホング）銅ニ尼結爾（ニケル）亞鉛ヲ烊和ス○支那人。皿碟。筒子。匙。筯。燭架等ノ家什ヲ造ル按ニパクホング「ハ響銅、响銅ノ音ナルベシ」尼結爾ハ雜錫一名廣錫「ナルベシ」赤銅以テ雜錫ヲ鍊テ爲ス响銅ト天工開物、銅條ニ廣錫參和ヲ爲ス響銅ヲ又鉦鐲之類、皆紅銅ハ斤、入ニ廣錫二斤ヲト云

火燧鏡。攝光千哩鏡之鏡料　銅三分。錫一分。砒少許ヲ烊和ス

鐘料　銅百分。錫十二三分。或亞鉛少許ヲ烊和ス

又方　銅百分。錫四十分。蒼鉛三十分右烊和ス」此料ハ鑄テ清音ヲ發スレ共質脆メ墾破ノ憂アリ

小鐘料又鈴鐸料　銅百分。錫十二三分ニ銀少許ヲ烊和ス」銀ハ鐘鈴ノ聲ヲ清聆ニシ餘音ヲ留メ且墾破セザラシム

大煩料（大ニ煩ヤ）銅十六分。錫一分

又方　銅百分。黃銅六分。錫九分

佛蘭西國方　銅一萬分。錫九百分。黃銅六百分



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

鑄ニ大活字ヲ料ス　銅二十五分。鉛百分。鑄ニ小活字ヲ料ス　銅四分。錫一分

甘加謨又紺瓦剌謨　共印度名　銅

烏金（シヤクドウ）　銅ニ黄金ヲ烘和スナリ下品ヲ「メザシガ子」ト稱スアリ按ニ烏金ノ方、西洋ニ詳ラズ本邦ノ方三等分ヲ烘和ス中品ハ烏銅十錢ニ黄金六七分○考ニ烏銅十錢ニ黄金一錢ニ黄金三四分上品ハ烏銅綠四分、嚴醋半碗、膽礬四毛、水五椀、○煮テ黒色ヲ發スル藥汁ヲ烏銅ノ方、銅百錢、堅白目二錢ヲ烘ス、煮汁方前ニ同シ

## 鉛及酸化第二百十五章

布綸爸毋（ブロンバード）　撒岩爾紐斯（サルニウス）

鉛烘化ノ大氣ニ中レバ薄皮ヲ被フ此皮ハ卽チ酸化鉛ナリ尚久ク氣酸ヲ稟レバ盡ク酸化ス○凡ソ酸化鉛ノ色ハ酸化ノ度ニ從テ種々ニ轉變ス初學ノ爲ニ製シ試ルヿ能ハズ藥局所鬻ノ鉛丹（タン）、鉛黄、銀密陀ヲ觀テ類推スベシ○酸化鉛ヲ陶ノ列篤爾多ニテ餾スレバ酸素死スルヲ發ス硫酸ヲ加テ餾スレバ更ニ之ヲ發シ易シ然レドモ其鉛ハ餾後尚酸素ヲ含テ全ク還元セズ炭素ヲ和シ再ビ煆バ則生鉛ニ還ル

○鉛ハ特生セズ或酸化シ或鑛ト爲テ出ツ水ヨリ重キヿ十一倍餘（舍藥舍密曰十一倍餘ハ十分寸徑ノ鉛線ハ僅ニ十九比ノ重物ヲ懸クベシ」延張ノ力、錫ニ及バズ

○鉛ニ五等ノ酸化アリ其一ハ灰酸化鉛（鉛煆）鉛九十一分



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

又六九。酸素八分三一(隆氏篤筭下同)其二、黄酸化鉛(鉛黄鉛)九十一分又一。酸素八分九九〇其三、赭酸化鉛(金密陀銀)九十分又七五。酸素九分二五〇其四、半玻璃鉛(鉛丹)鉛八十八分又四八。酸素十一分五二〇譜厄利亞人(ヨン)東孫(ソン)酸化鉛ヲ論ジ曰鉛種ミノ酸化アリト雖モ必竟黄赭ノ二等ニ配合スル者ノミ蓋シ灰酸化鉛ハ黄酸化鉛ニ生鉛ノ和合スル者。密陀僧ハ黄酸化鉛ニ少ク炭酸ヲ含ム者。鉛粉ハ黄酸化鉛全ク炭酸ニ飽ク者。鉛丹ハ黄赭ニ酸化ノ和合スル者ナリ



○鉛丹ハ屋布爾(オップル)。把爾都(パルツ)ノ羅爾(ロル)ミ、福軒(ホケン)及(ビ)諳厄利亞諸地ニ專(モッパラ)ラ有テ燒ク羅爾ミ福軒ノ法ハ鉛粉ヲ高キ壺ノ四分一ニ裝シ窯ニ納レ十二時ノ間煅キ其間時ミ火度ヲ候診シ試ニ少許取出メ深橙黄ノ片塊ヲ爲シ之ヲ紙ニ揩テ丹色ト爲ルヲ定度トシ其壺ヲ窯ヨリ出ス○生鉛百斤ヲ鉛粉トシ煅バ鉛丹百十五斤ヲ得。而鉛丹百錢ニ獸脂ヲ和メ煅バ生鉛八十錢ニ還ル

○酸化鉛ヲ久ク烈火ニ煅バ近黄透明ノ物ト爲ルヲ鉛玻璃(ヒットリュム、プリュムビ、オキセーデュムト・プリュムビ、ヒトロードガラスト・ウム)



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

名ク此玻瓈ハ氣ニ中テ輒チ溶解セズト雖モ歳月ノ久キ竟ニ玲瓏ノ質ヲ喪フ土類。酸化金屬ト共ニ煆ケバ能ク之ヲ燦化シテ玻瓈ト爲ス」其玻瓈ノ法ハ酸化鉛三分。淨白砂一分ヲ和シ濶大ナル甘堝ニテ燦和シ灼紅ノ鉄板ニ注テ扳トス○此ハ望遠鏡ノ受象鏡（サキダマ）ノ枝ニ用テ妙ニ光芒ノ色ヲ斂ム或、細末トメ寶石ヲ賽シ陶器ニ釉スルニ用フ

## 消酸鉛第二百十六章

プリュムビュム、ニットリキュム、サルペートル、ヒューレ、ロード、鉛ハ好テ消酸ニ親和シ親和スル所ノ消石厄斯ヲ發ス

○東孫云消酸鉛百分ハ黄酸化鉛六十六分ヲ含ム

○消酸鉛液ハ醋酸鉛液ノ如ク試藥ニ用フ之ヲ鑛泉ニ滴メ渣ヲ生スルハ硫酸。鹽酸。或、炭酸土質鹽ヲ含ム徴ナリ○製法ハ生鉛ヲ消酸ニ溶シテ晶ヲ結シメ其晶一分ヲ餾水四分ニ溶ス

## 鹽酸鉛第二百十七章

プリュムビュム、ミリアチキュム　ソ。ウトニューレ、ロード
プリュムビュム、コルヲ。ウム　ホールン、ロード角鉛

消酸鉛ニ鹽酸ヲ加レバ其鉛分ニシテ不解ノ鹽ヲ爲ス之ヲ鹽酸鉛ト謂フ

○廣義云生鉛ハ鹽酸ニ和セズ消酸鉛ハ鹽酸ニ和



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

メ綿軟ナル細針晶ヲ結ブ之ヲ甘堝ニ炒セバ半透
明ニメ獣角ノ質ヲ為ス故ニ角鉛ノ名アリ

硫酸鉛第二百十八章　鉛礬
ヒットリオリュム、プリュムビュム　鉛分
スワーフルミューレ、ロードド

消酸鉛ニ硫酸ヲ加フレバ其鉛分テ不解ノ鹽ヲ為ス之
ヲ硫酸鉛ト名ク

酸化鉛。鹽酸曹達、和劑第二百十九章

鉛丹四分。鹽酸曹達一分ヲ和シ水ヲ以テ泥トシ置バ
其鹽酸ハ酸化鉛ニ親和ス水ヲ以テ洗淘スレバ鹽酸
鉛白粉ト為ル此白粉ヲ煆バ黄色ト為ル之ヲ密捏剌



リダ黄ト謂フ

○按ニ礬土　粳米土ニテ坯ル陶器、京清水、粟田口燒、類瓷油ハ酸化鉛。鹽酸曹達。珪土　糯米土ニテ陶器ノ瓷油方ハ第百六十九章附録ニ出ス其方。鉛丹十八銭。精白砂二十銭加里十銭。鹽酸曹達四銭。右研末シテ火ニ爍化シ水ニ投シ磨メ細粉トシ水ニ調匀メ陶坯ニ刷クコト二重紙厚。風乾メ後燒窯ニ入ル○又方。酸化鉛七十銭。精白砂五十銭。木炭末三十銭。鹽酸曹達十二銭。用法同前

附録　納波里亞黄ナーペルス、ゲール極黄繪藥

鉛粉十二銭。安質沒尼若波列二銭。過酸硫酸礬土加



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ニ里。鹽酸諳摸尼亞各半錢。右四味搗末シ煆テ一時
半再ヒ細末ニ寶盦(ホンダン)ト第百六章ヲ和シ坯ニ刷キ或彩
畫シ煆バ美黃ヲ發ス色ノ濃淡ハ鹽酸諳摸尼亞ノ
多少ニ隨フ

## 鉛粉第二百二十章

シブカルボナス、プリュムビ　次炭酸鉛　オンドル、コ
ールストフシュール、ロード、ホワイト　セー
リュツサ　漢名官粉　俗名唐ノ土
京オシロイ　井上山城製爲ニ眞品ト

鉛ハ醋ノ蒸氣ニ中レバ醋ノ炭酸ニ酸化シテ白粉ト
爲ル之ヲ鉛粉ト謂フ

○按ニ常ノ鉛粉ハ鉛ヲ板トシ醋上ニ懸テ酸化セ
シム或鉛ヲ搥テ薄葉トシ輕ク筒巻シ醋上ニテ酸
化シ盡ス者アリ之ヲ「シキルフルロードホワイト」
謂フ舍密家ニテハ消酸鉛ヲ水ニ溶化シテ炭酸加
里液ヲ加ヘ白粉沈ムヲ取ル此亦鉛粉ナリ百分ハ鉛
七十六分又三分ノ二。炭酸二十三分又三分ノ一

## 醋酸鉛第二百二十一章

アセタス、プリュムビュム、アセチキュム
サッカリュム、サチュルニ　ロードソイクル鉛糖

鉛粉ヲ餾醋ニ浸シ溶シ上清ヲ煮テ結晶セシムレバ
晶ヲ結フ之ヲ醋酸鉛ト謂フ世ニ所謂鉛糖ナリ

○按ニ鉛糖ノ製法名物考ニ出○近説ニ第一酸化



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

鉛プロトオキセイト醋酸ニ成ル鹽ナリト云
（プロトオキセイト＝ゼムム、プロトオキシド）

附録　流動醋酸鉛　アゼタム、リタルゲイリ　アセタ、
（アゼタム、リタルゲイリ　アセタ、＝醋アゼタムリタルケイリアセタ、）

和蘭局方法　金密陀一分ヲ格爾弗ニ納レ葡萄醋四分ヲ注キ時々振蕩メ浸ス十二時又煮ル一時半或ニ時。試ニ青花紙ニ點メ紅色發セザルニ至リ冷シ無膠紙ヲ以テ濾シ玻瓈壜ニ貯フ○此液ノ異重二十九度（舍密局方云水一ニ此液一弓半ヲ容ル器ニ弓ヲ容ル、ヲ度トス」）

○五爾剌斯敦（ウルラストン）云。流動醋酸鉛ヲ尾爾華尼機ノ消極第五十章、一名水ニ中レバ其鉛。酸素ヲ褰ヒ還元メ樹素極一名雌極形ヲ爲ス枝葉繁密ニメ蕨薇ノ如シ之ヲ鉛樹ト謂フ之ヲ積極（一名酸素極一名雄極）ニ中レバ復タ酸素ヲ受ケ枝葉湮没メ跡無シト云

鉛之隱顯墨第二百二十二章

醋酸鉛或他ノ鉛鹽ヲ水ニ溶メ文字ヲ書シ乾テ筆蹟隱テ見ザルヲ硫化水素尾斯ニ當レバ其文字黒色ニ顯レ鮮明ニ讀ベシ蓋シ硫化水素ハ鉛ヲ黒色ニ渝變スル本來性アレバナリ第九十八章

○按ニ硫化水素尾斯ハ採聚容易ナラズ櫂濃（ガウビ・ウス）斯和蘭醫ノ隱顯墨（レムパチセイン）キト、ア、ガ。ウビ人ノ隱顯墨（レムパチセイン）キト、アン、ガ。ウビ（ガウビ・ウス）ヲ用ヒ



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ヲ便トス其方。石黄一錢。生石灰二錢。餾水十二錢ヲ長頸壜ニ納レ口ヲ封シ重湯ニテ十二時ノ間煮。冷後沈塗ヲ去リ固封シ貯フ○此液ハ硫化水素瓦斯ヲ含ムヲ以テ鉛液ニテ書スル上ニ塗バ頓ニ黒色ヲ發ス故ニ往日ハ鉛ヲ試ル試藥ニ用ヒタリ

附錄　鉛他金或硫黄和合

鑄小活字料　鉛ニ安質王ヲ烊和ス質剛シ亦雀丸。銃丸ヲ鑄ルベシ按ニ布廉吉原病論ニ活板匠ハ旧鉛ト安質ヲ烊ス烟氣ヲ嗅テ一種ノ恒病ニ罹ル者多シト云是ナリ

亞鉛和鉛　鉛三分。亞鉛一分ヲ烊和スル者ハ光彩鉛ノ如ク甚硬ク頗ル響鳴アリ

瓦列奈ガロードガランス　鉛。硫黄ヲ含ム者ナリ天生ニ出ル林娜斯。鉛鑛凡十一種ヲ記ス其第二種立方結晶鉛ト稱スル者是ナリ光輝鮮麗ニメ鏡ノ如シ形正方ニメ骰子ノ如シ或箇ニ分生シ或層集メ砌段ヲ爲ス稀ニハ稜乃至二十六稜ヲ爲ス者アリ按ニ此鑛ハ本邦諸州ニ多シ玩石家ニ自然鉛ト稱シ貯フ

假製瓦列奈コンスチヘーロードガランス　鉛五分ニ硫黄二分ヲ爛和スレバ黒メ束針紋アル物ト爲ル其性天生ノ瓦列奈ニ異ナラズ唯骰子ヲ爲ザルノミ



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

錫第二百二十三章

斯陛紐毋　玉斐斯　ティン

錫ハ大氣ニ觸テ酸化セズ鍊器ニ鍍メ鏽衣ヲ防クベシ所謂貌立幾是ナリ打テ延張スル性甚盛ナリ錫箔及ヒ貌立幾ヲ見テ觀ベシ

○僕麻列韻府云坊間所鬻三等ノ錫アリ第一光錫（ガラット）ティン、デル、ムト名ク頗ル精好ナリト雖モ諳尼利亞錫。結晶錫。ニ及バズ○第二。常錫ト云。錫工ノ常ニ用ル錫ナリ光錫ニ鉛或黃銅ヲ雜ヘ烊ス者ナリ○第三。喃錫ト云此ハ光錫ニ蒼鉛。赤銅。亞鉛ヲ雜ル者ニメ打ハ響鳴ス○以上皆純錫ニ非ス最純ノ錫ハ邏瑪錫滿剌加（マッカ）錫。ト名ク數子形ニメ邊緣アリ商賈呼テ帽錫トス（按滿剌加錫ハ卽番加錫、一名花錫ナリ星槎勝覽ニ云滿剌加國於ニ山溪中ニ淘ニ砂取ル）錫ヲ不レ假煎錬ヲ成塊名デ曰フニ斗錫ト一也又貌邏苦（マック）錫アリ獨乙蘭土ヨリ出ス其都府法謨勃爾孤（ムルグ）ノ徽章（シルル）。城廓ノ形ヲ戰ノ壕作ス

○純錫ハ水ヨリ重キ十七倍有奇（合藥舍密曰七二銅六六四ノ如シ）銅等ニ雜レバ之ヲシテ堅剛碎ケ易カラシム又再ヒ分離シ匝シ故ニ古人錫ヲ綽號メ金鬼ト謂フ

○延張性ハ裴燕（バイニ）氏云滿剌加精錫二十一氏ヲ以テ徑（ワタリ）九寸深（フカサ）三寸又四分寸一ノ鍋内ヲ鍍スベシ



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

附録　鍍錫法　邦俗七度焼ト呼ブ（ギ）鍍銀法是ナリ

鍍錫セント欲スル紅（アカ）銅。黄銅器ヲ極テ善ク琢磨シ烘リ熱シ華爾斯（マツヤニ）。獣脂。或鹽酸諳摸尼亞水ヲ塗リ之ヲ曽テ鎔化シ置タル錫中ニ投シ（暫）洽ク鍍著スルヲ候ヒ苧麻絨ヲ以テ急ニ餘錫ヲ拭去リ冷ス」銕葉ニ鍍錫メ貊立幾ト爲ス法モ大抵此ニ同シ

○又煮鍍（ツケ）法アリ此ハ銅線（カリガネ）。釘子。結繃（ギ）針等ノ細貨ヲ鍍スルニ用フ其法初メ線針等ヲ酒石水ニテ煮（ニ）爾後錫板二枚ノ間ニ挟ミ酒石水ヲ以テ二時半許煮テ冷シ水ニテ洗ヘバ線針等銀色ト爲ル

酸化錫第二百二十四章

シ子レス、スタンニー、セールリュー、ヨヒス錫粉（ティ）カルキ　スパーン　スヴィツト伊斯把尓亞白粉

錫ハ中等ノ火度ニ烊化ス（廣義云諸金ノ中最烊易シ其火度正ニ列氏ノ百六十八度ニ在リ）烊化メ久ク火中ニ在バ漸ク酸化メ灰色ノ粉ト爲ル迺（チ）是（レ）酸化錫ナリ○酸化錫ニ精好玻璨ヲ爍和スレバ白琺瑯劑第百六十九章ト爲ル

○錫ヲ消鹽酸ニ溶シ水二十倍ヲ加（クハ）レバ白粉沈ムヲ麻義（マギ）斯多（ト）律謨（ム）斯丹（タン）尼（ニ）ト謂フ亦酸化錫ノミ此ハ白琺瑯ノミナラズ粧顔（ケシヤウ）粉トシ或ハ玻璨器靈隷（メカ）等ヲ拭テ妙ニ臓汚ヲ去ル



国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

硫酸錫第二百二十五章

シルパス、スタンニ　スワーフル
ミュレー、ティン　ティンヒットリオール錫礬

○廣義云醇烈ノ硫酸四分ニ錫一分ヲ溶化スレバ亞硫酸瓦斯ヲ發メ白鹽ト爲ル之ヲ沸湯ニ溶シ煮テ放冷スレバ針狀芒ヲ結フ卽硫酸錫ナリ此芒氣ニ中レバ潮解メ酸化錫分レテ沈降ス

鹽酸錫第二百二十六章

ミュリアス、スタンニ　ソ。ウトシ
ーレティン　ホールン、ティン　角錫

○廣義云錫ハ溫氣ヲ假モ假ラザルモ能ク鹽酸ニ溶解ス此溶液ヲ蒸散スレバ光輝アル柱狀晶ヲ結ブ此晶大氣ニ中レバ濕ヲ引テ潮解ス但シ其錫ト鹽酸ノ品異ナルニ從テ晶形一樣ナラズ錫。溶化スル際ダニ發スル臭氣ハ水素瓦斯ナリ

○紫金ヲ製スルニ用ル鹽酸錫ハ用ルニ臨デ製スベシ製メ久ヲ經タルハ赭色澄テ金ヲ降スカ脫スヲ生ズルハ鹽酸過テ消酸不足ノ徵ナリ又其錫面ニ黑鏽ムハ消酸過テ鹽酸不足ノ徵ナリ共ニ消鹽酸ヲ撰ムベシ試ニ其一分白粉ト爲テ沈酸ニ精錫一片ヲ投シ溶スニ其黃ニ近キヲ佳トス又其消鹽酸ヲ○錫液色深赭ナルハ稍飽和ニ過テ良ナラズ稍橙



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

酸ノ病トス」鹽酸錫液ニ加里液一滴ヲ加テ渣ヲ生
ニ振蕩メ其渣尚消化セザルハ中和液ノ徴トス

消酸錫第二百二十七章

スタンニュム、ニウトリキュム
ルペートルエーレティン

○醇厚消酸ニ餾水三倍ヲ和シ緊密ノ塞アル壜ニ
納レ其壜ヲ寒涼ニシ錫片ヲ投シ急ニ栓メ溶解シ
了ルヲ候ヒ又錫片ヲ投シ如此漸ク〻ニ錫ヲ溶セバ
半透明白色ノ粘液ヲ爲ス此ニ鹽酸諳謨尼亞液ヲ
加レバ澄明ト爲ル○凡ソ消酸錫液中ニハ固リ自
ラ諳謨尼亞アリ加爾基ヲ加レバ臭氣ヲ發スルニ
テ知ルベシ此諳謨尼亞ハ消酸ノ窒素ト水ノ水素ト
親和メ生スル者ナリ○此液ハ緊口壜ニ藏メ寒涼
ノ暗處ニ貯フベシ大氣ニ觸レ温素ニ和シ或ハ日光
ニ中レバ酸化錫分テ沈降ス

○錫ヲ醇厚ノ消酸ニ投スレバ劇ク沸湧シ著ク熱
ヲ起メ溶解シ忽チ復タ不解ノ酸化錫ト爲ル水ヲ和
スレバ潔白ノ酸化錫沈降シ上清ハ錫分無シ

利抜喜烏斯發烟精第二百二十八章

スピリテュス、ヒューゝンス、リー
ケンデゲースト、アニ、リバヒ。ウス



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

レバ一種ノ精ヲ滴ス此精ハ氣ニ觸レバ濃白霧ヲ發ス之ヲ利抜喜烏斯發烟精ト名ク酸化鹽酸ト酸化錫ニ成ル

○廣義云錫四弓ニ硝二弓ヲ和メ膏トシ酸化鹽酸硝ハ弓ヲ研和シ列篤爾多ニ納レ孔ヲ穿タル受器ヲ接シ砂鍋ニ安シ緩火ヲ以テ餾スレバ初無色ノ液ヲ滴シ白霧ヲ發シ漸ク凝テ明亮ノ液ト爲ル液凡ソ二弓半ヲ得ベシ○此液ニ餾水ヲ和スルヿ七ト二十二トノ如キ片ハ溫ニ遇ハ流動シ冷レバ凝結スル液ト爲ル故ニ先哲之ヲ錫酪ト號セリ

沈降色分性第二百二十九章

錫液　消鹽酸錫液　ハ植物ノ色分ヲ沈降スル殊性アリ

○按ニ錫液ハ植物色分（藤木紅藍等ノ紅色）ノミナラズ動物ノ紅色ヲ尚ク或ハ其消褪ヲ防クト云

○葛氏舍密染（ル）猩紅（ニセツ）絨（ジュウ）法　先ツ絨ノ素質（ケタリ）（ヒタ）ヲ練ルベシ練法ハ清水適宜ニ酒石英十四錢ヲ加ヘ錫鍋（或錫）ヲ厚ク鍍（キ）タル（ル）銅鍋ニ納レ煮溶シ錫液十四錢ヲ取テ徐ク ニ加ヘ煮テ數刻。哆囉（ヤ）絨一比ヲ投シ一時ノ間煮テ絞リ冷ス○染法ハ酒石英二錢水適宜ヲ錫鍋ニ煮沸シ哥（コー）攝（ニル）尼爾（花金龜ノ一種和産未詳）細末ハ錢ヲ加ヘ木棍（ボウ）ニテ

攪セ煮テ數刻。錫液ハ錢ヲ徐ニ加ヘ和匀シ曾テ練リタル哆囉絨ヲ椷ニ巻キテ鍋上ヨリ快手ニ鍋内ニ解下シ又鍋内ニテ故ノ如ク巻キ半時ノ間煮テ乾ス○此ニ用ル錫液ハ消酸一比ニ水一比ヲ和シ鹽酸諳摸尼亞十二錢ヲ溶シ精錫ノ鏇屑十六錢ヲ半錢宛投シ溶了ヲ俟テ又投シ緊ク口ヲ封シ貯フ

附録　錫鹽サル、ヨヒスヒトレ、テイン醋酸錫　第二百二十四章

酸化錫ヲ醇厚ノ醋酸ヲ加ヘ浸シ其上清ヲ煮テ結晶ヲ取ル醋酸鉛ノ製法ニ同シ

○繆西加爾臥烏度。ウリュム、ミュシキュム　モヤイクゴウド

製法　精錫一弓。生濆。銀朱。硫黄。各十錢鹽酸諳摸尼亞八錢一方無銀朱ニ濆ヲ和メ錫膏トシ銀朱以下ヲ加ヘテ研合シ挌爾弗ニ内レ烈火ニ煆ク二時ナレバ銀朱ハ昇テ華ト爲リ器底ニ金色ノ物殘ル鬆脆ニメ針眼多シ之ヲ水ニ洗ヒ乾ス金色ノ畫ヲ彩スルニ用フ

○錫溶解ス加里液ニ説

一千七百九十二年寛政四年篤隆氏發明云。錫ハ濕道ニ由テ苛性加里液ニ溶解シ其溶液ニ銅ヲ浸セバ錫沈降ス曹達。諳摸尼亞ハ錫ヲ溶ス性加里ニ劣レリ



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

紐氏韻府。英國陶器白瓷油方
酸化鉛按鉛粉、鉛丹、陀僧類二十比。酸化錫第二百廿四章五比。白砂鹽
酸曹達各二十五比右爍シテ玻瓈トシ磨ノ細末ト
シ水ニ調和シテ陶坯上ニ刷キ窯ニ入ル

舍密開宗卷十三終



守田川榕榕菴　重譯增註

亞鉛第二百三十章
聖窓母スピヤ。ウトル ピ。ヤウトル シンキ
亞鉛ハ中等ノ熱ニ烊化ス或云列氏二百九十六度化ノ氣ニ觸レバ速ニ酸化ス熾紅セル甘堝ニ投スレバ煥然タル明焰ヲ發シ其焰。氣ニ中レバ白色ノ酸化按亞鉛華、或ハ斐ト錄所費亞綿爲リ空ニ沖ル

◯亞鉛ハ特生ノ者無シ酸化ノ者。土分鋌分ヲ含ンテ

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

鑛ヲ爲ニ（即チ爐甘石或ハ硫化ノ貌聯達ト爲テ産ス）亞鉛ハ東印度、支那ノ産ヲ上品トシ歐邏巴、臥斯剌爾ノ産ハ鉛ヲ含テ下品トス諳厄利亞、黄亞鉛ト稱スル者ハ銅ヲ含ム」一種、東印度ニ答烏的奈劫ト稱スル鉄條（水）ヲ爲ス亞鉛アリ和蘭ノ商舶之ヲ賤價ニ得テ銅ト鉛ヲ雜ヘ更ニ丁的奈劫ト名テ復タ貴貨ヲ以テ東方諸國ニ賣ルト云

○水ヨリ重キ（合藥舍密曰六ハ六ニノ如シ）七倍蓋器ニテ煆バ細粒ト爲テ蓋ニ昇著ク頽ノ如シ之ヲ蒸餾亞鉛ト謂フ此亞鉛ノ一殊性ナリ開器ニ煆バ焚ユ其焰絶タ燐焰ニ類シ氣ニ遇バ酸化シテ白キ綿絮（ソメン）ノ如キ物ト爲リ飄シ風ニ隨テ飛ヒ去ル此白絮綿（メン）ノ如キ物ヲ斐錄所（ヒロソフヒーアスダーリヘウル）費亞綿（ヒアメン）ト名ク醫方ニ亞鉛華ト稱メ治癇ノ聖藥トス黄銅ヲ製スル家ノ天井ニ白ラ騰リ著ク者ヲ去知亞（テユトアー）ニートト名ク（一般）劫（ジンク）葬曰亞鉛ハ水素厄斯ニ親和ス又水素厄斯。亞鉛ヲ含タルヲ厄斯（ガス）喜度羅厄（ヒドロゲン）涅（ニトロゲン）聖悉（シル）ト謂フ

## 硫酸亞鉛第二百三十一章

エルパス、シンシヒ、シンキ、ヒツトリオール、スワールフルヒー、スピア。ウテル、ヒツトリオール亞鉛礬（ジンクヴイツトリオール）皓礬（ギリアー、パラゼル）ニ、ガリヲ、スステーニ



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

亞鉛ハ諸酸ニ溶解スレドモ硫酸ニ溶解スルヒハ最精好ノ水素瓦斯ヲ發ス第四十一章ニ註ス其溶液ヲ蒸散スレバ端整ノ晶ヲ結ブ即チ世ニ所謂皓礬ニメ硫酸亞鉛ナリ

○按ニ近世局方所載硫酸亞鉛ハ舶來ノ和ニ舘水十弓ヲ和ニ東印度産ノ亞鉛碎末ヲ少許宛加テ溶ザルニ至リ尚試ニ亞鉛ノ小片ヲ投メ果メ復タ溶ザルヲ候ヒ常法ノ如ク晶ヲ結ハシム若シ亞鉛溶テ器底ニ澱スル黑物ハ炭素銕（按石墨類ナリ）

○廣義云硫酸亞鉛ノ晶ハ白色四瓣駢胎柱（第十四圖ノ心）有リ柱身共ニ二瓣ハ濶ク二瓣ハ狹シ」百分



八硫酸四十分酸化亞鉛二十分結晶水四十分

亞鉛爆性第二百三十二章

亞鉛（廣義云細末一分）ニ消酸加里（三分）ヲ和シテ熾紅セル甘堝ニ投スレバ爆鳴メ燃ユ

○廣義云亞鉛消酸加里ノ和劑ハ燒ケバ爆聲（ポン）ヲ發シテ星花亂散ス故ニ炮術家。火箭（ボウヒ）ノ藥ニ配合ス其燒後ニ殘ル物ハ全酸化亞鉛ト加里ナリ○亞鉛ヲ細末スル法ハ亞鉛多少ニ拘ラズ甘堝ニ烊シ烊化ニ乘メ溫メタル石臼ニ寫シ銕杵ヲ以テ且（ツ）攪セ且（ツ）搗ケバ冷ナガラ細末ト爲ル之ヲ篩（ヒ）用フ



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

## 蒼鉛第二百三十三章

北斯繆去毋ウイスミュット　マルカシット　アスガラー立ティン蒼錫　アスガラー立ロード○按ニ古書ニ三種ノ鉛ヲ記スト雖モ今ノ錫蒼鉛ハ比斯繆多ク黒鉛ハ常ノ鉛ト異ナリ○又按ニ蒼鉛ハ諸山ニ出ル白目一名伊豫白目ナルベシ

○諸書ヲ參考スルニ蒼鉛ハ佛蘭西獨乙波米密亞ノ銀坑ニ産ス銀光鑑ルベク色白黄ニメ稍紅色ヲ帶ビ質脆メ摧ケ易ク摧破ノ處砌紋アリテ小葉或小錢ヲ鱗次スルガ如シ氣ニ觸テ鏽澁ヲ生ゼズ細末スレバ蒼色灰黒色ナリ水ヨリ重ト九倍有奇或云九千八百二十二ト一萬ト云ノ如シ火ニ烊解スルト鉛錫ノ間ニ在テ正



二四百六十度ナリ○硫酸消酸消鹽酸或醋酸ニ溶解ス

## 消酸蒼鉛第二百三十四章

ビスミュム。ニットリキュム。プラーシピタテュム　ニットラス、ビスミュテ　子。ウテルブラス、ビスミュト　次消酸マギオンドルサルペートル　蒼鉛　オキセーデュス、ビスミュット酸化蒼鉛　ステリ。ウム、ビスミュットルプードル、ハン、ビスミュット　メリス

蒼鉛ハ消酸ニ溶解ス其溶液ニ水ヲ和スレバ白粉沈降ス其粉ヲ水洗メ白色ノ顔料トス之ヲ蒼鉛白又伊斯把尼亞白ト名ク即チ酸化蒼鉛ナリ○酸化蒼鉛ハ硫水素瓦斯ニ中レバ黒色ト爲ル

○和蘭局方。次消酸蒼鉛製法

精好消酸ニ餾水同量ヲ和シ蒼鉛粗末ヲ取テ少許宛加テ溶解セザルニ至リ濾過シ濾清ヲ餾水。蒼鉛量ノ三十二倍中ニ滴和スレバ白色ノ粉沈降ス之ヲ漉紙上ニ傾ケ紙上ノ粉ヲ取リ餾水ニテ洗フ一二三回暖キ暗處ニ置キ乾シ玻瓈壜ニ納レ黒紙ヲ覆ヒ貯フ

○廣義云酸化蒼鉛ハ醫家ニテ痙攣胃痛ノ聖藥ト シ閨人姫妾。臙脂ヲ和メ粧顔ノ料トス香奩中ノ要品タリ唯久ク用レバ膚理枯燥メ黄氣ヲ生シ或之ヲ施メ硫水素瓦斯ニ觸レバ黒色ト爲ル

蒼鉛ハ他ノ金屬ニ和スル蒼鉛他金和性第二百三十五章

蒼鉛ハ他ノ金屬ニ和スレバ鎔化ヲ進ム」蒼鉛八分ニ鉛五分。錫三分ヲ烊和シ或ハ蒼鉛三分ニ鉛一分錫五分ヲ烊和スル者ハ沸湯以下ノ熱ニ鎔化ス湯中ニ煮レバ湯底ニ在テ烊化ス

○或云蒼鉛四分ニ鉛二分ヲ烊和スル者ハ甚タ烊易シ針藥ニ用ヒ或ハ解剖家。諸藏脉絡ニ注射シ而後藏腑ヲ腐爛スレバ此金質殘留テ其細微ノ支末纒絡ノ道路。眞ト貳ガキヲ觀ベシ○利氏人身窺理



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

篇云。肺ノ葡萄狀細胞ノ如キハ蒼鉛三分。鉛五分。錫八分。須一分ヲ烊和スル者ヲ鎔メ注射ス（第二百二十五章、第百九十七章）

## 砒第二百三十六章

亞爾攝尼寃母（アルセニキ。メタール）ルペンコバルト（アルセニケ。俗名岩見銀山鼠取藥）

砒亦金屬ナリ坊間所販ノ者ハ白色ノ酸化砒（白砒ヲ爲ス）此白酸化ヨリ砒金ヲ取ル法ハ白砒七分（ヒ）ニ黑熔散一分ヲ和シ甘堝ニ納レ上ニ黑熔散ヲ置キ蓋ヲ覆ヒ粘土ト砂ノ和泥ヲ以テ蓋際ヲ固封シ堝底ヲ燒バ砒還元ノ上部ニ昇リ著ク○篤隆氏曰黑熔散ハ消酸加里一分。酒石羅謨二分ヲ甘堝ニ煆タル者ヲ謂フ

砒金ハ氣ニ曝セバ速ニ酸化メ黑色ト爲ル其性甚タ揮散シ易シ灼紅セル鉄板上ニ置バ白烟ト爲テ昇ル其烟大蒜ノ臭氣アリ

○按ルニ林娜斯ハ硫黃ノ類トス然レ可燃体ヲ加ヘテ鎔セバ玉分ル、ヲ以テ今ハ一種ノ金屬トス。方形ノ鑛ヲ爲シ或ハ加爾基狀ヲ爲シ鉄。格拔爾多。錫。蒼鉛ニ混シテ山ニ産ス（按ニ漢産白然銅、邦産ノ鍮色白然銅、及其一種切リ子砒ハ所謂方形ノ砒鑛ナリ漢渡及ヒ和産ノ蛇含石モ亦砒鑛ノ類ナルベシ）

砒和諸酸ニ第二百三十七章



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

砒ハ諸酸ニ溶解シ之ト和メ砒酸ヲ爲ス

○硫酸ハ煮沸ノ熱ヲ以テ砒ヲ溶ス但シ白色ノ酸化沈ム亞硫酸ニハ溶解セズ○消酸ヲ和メ消石灰斯及窒素尼斯ヲ發シ其酸素ハ砒ニ和メ白砒（亞砒酸）ト爲リ或全硫酸ト爲ル共ニ後章ニ出

（附録）加埋篤（カヅト）之流動燐（フルーイバーレ、ホスホール、ファン、カヅト）此ハ砒、醋酸ニ和スル者ナリ氣ニ觸テ煙ヲ發ス故ニ一名發烟砒酸（ロークケンデ、ロテコロイド、アクチヘ、アゼイン、ホクト）

砒和銅ニ爲白銅ヲ第二百三十八章

砒ヲ銅ニ烊和スレバ白銅ト爲ル試ニ砒金少許ヲ小キ銅板ノ間ニ挾ミ鋭線ヲ以テ縛定シ燒ハ板ノ裏面白色ト爲ル

○白銅ノ方ハ既ニ前ノ二百十四章ニ出ス

白酸化砒第二百三十九章

（アルセニキュム、アルセニキュム白砒　アルセニキュム、ガラス砒玻璃（ウイツテ、ロッテコロイド　アルセニキュム、アルセアクチス、ミール亞砒酸）

白酸化砒ハ大抵水ノ八十分ノ一溶解ス○篤隆氏曰白砒ハ酸化砒ニ非ス一種ノ酸ナリ予嘗テ此ニ亞砒酸ノ名ヲ署セリ

○亞砒酸ハ水八十分。沸湯十五分ニ溶ク其溶液ヲ



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

徐々ニ蒸散スレバ端整四面晶ヲ結フ徐々ニ昇華スルモ亦四稜晶ヲ結ブ潤玲瓏トメ玻璨ノ如キ者アリ○菫花舎利別ヲ緑變シ他ノ薄弱ノ青色（按ニ勒佉毋斯ノ浸類ヲ紅變ス○攝涅斐幾斯（ヒキ）云亞砒酸百分ハ砒七十五分。酸素二十五分ニ成ル

砒酸第二百四十章

アシダム、アルセニキュム全砒酸
アルセニッキシュール白酸化砒亞砒酸ハ諸酸ニ溶解ス（鹽酸ニ溶シ消酸ヲ加テ乾ケテ餾スレバ砒酸全砒酸ト爲ル或酸化鹽酸ニ溶スモ亦砒酸ヲ爲ス按ニ悉肱列氏之法

○舍密原本砒酸製法

白砒ヲ鹽酸三分量ニ溶和シ煮沸シ熱ニ乘メ白砒倍量ノ消酸ヲ加ヘ又煮テ蒸散シ乾セバ消酸分離シ其酸素ハ白砒ニ親和メ砒酸トナリ其窒素ハ消石（硝）石（酸）斯ト爲テ飛散ス初メ砒ヲ溶ニタル鹽酸モ亦硝石斯ト爲テ飛散シ初メ砒ヲ溶ニタル消酸六倍ヲ加ヘ列篤爾多ニテ餾スレバ消酸ノ酸素一來ハ白砒ニ和メ砒酸ヲ爲ス一來ハ其窒素ト和メ赤烟ヲ發ス此ノ赤烟ハ色白ク質金屬ノ如ク烈火ニ煆テ揮散セズ



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

却テ玻瓈体ヲ爲ス但シ炭火ニ燒バ炭ニ和シ焚テ蒜臭アル毒烟ト爲ル久ク大氣ニ露セバ流動ス性猛烈ノ毒アリ白砒ヨリ甚シ酸性完ク備テ菫花舎利別ヲ紅變ス○攝涅斐幾斯曰砒酸百分ハ砒六十五分又三。酸素三十四分又七ニ成ル

## 砒和ス亞爾加里ニ第二百四十一章

アルセニキュム、ヒキュム恒砒（ヘパル、アルセニキ　アルセニキ、レーフル肝色砒）

白砒ハ燥濕兩道ニ因テ亞爾加里ニ和ス○白砒ニ消酸加里ヲ和シ熾紅セル甘堝ニ投シ煆バ砒酸加里（アルセニキュム、ヒキュム恒砒ヲ外ステ）ヲ爲ス

○備要云白砒濕道ヲ以テ亞爾加里ニ和スレバ桂色ノ灰ヲ爲ス之ヲ肝色砒ト謂ヒ燥道ヲ以テ亞爾加里ニ和スル者ハ白シ古人之ヲ恒砒ト名ク○廣義云砒ハ燥道ニ由テ土類ニ和ス玻瓈ニ白砒少許ヲ和シ烊セバ一分ハ飛散シ一分ハ留テ玻瓈ニ和シ其成分ヲ和熟シ其調和ヲ團圓シ其汚色ヲ祛キ其瑩明ヲ增ス第百六十二章

## 砒和ス硫黄第二百四十二章

アルセニキ、スワーフル、レーフル砒硫肝○アルセニキュム、ヒブルムロテコロイド赤砒（アルガルローデ、スワーフル、ハーカレ、ロベイン紅寶石砒、ギイト　漢名雞冠雄黄、雞

冠石○ロールデ、マーグデと、呂テコロイド赤砒苗
漢名薫黄○ゲーレ、ゲズワールデ、アルセニキ黄
色硫化砒　アンリピグメント、オプレメント、
ゲールオプリメント　漢名石黄　和名キワウ

白砒ニ硫黄ヲ和シテ餾スレバ硫酸ヲ滴シ赤色光輝
アル物残ル即硫化砒ナリ或白砒ヲ水ニ溶シテ硫水
素瓦斯ヲ通スレバ黄色ノ渣滓沈ム亦硫化砒ナリ

○砒ハ燥濕兩道ヲ以テ能ク硫黄ニ和合シ和合ス
ル硫黄ノ多少ニ隨テ其色異ナリ硫黄最多キ者ハ
深紅色明瑩嬌豔硫黄少キ者ハ色黄ナリ砒四分硫
一分ハ赤色ヲ爲シ雄黄雄黄砒硫等分ハ橙皮黄赤苗砒硫
十分硫一分ハ黄色石黄ヲ爲ス○砒ハ至毒ノ金屬ト

雖モ多少ニ硫ニ和スレバ毒性減ス透明ノ赤砒ハ
毒最少ク黄砒ハ稍毒アリ遅羅人雄黄ヲ刻琢メ盃
トシ酒ヲ飲ミ百病ヲ通治スト謂フ千七百三年把
之ヲ論ノ曰、雄黄小毒無ニ非ス孟トシ飲テ何ノ害
無カラン遅羅ハ南方温地ニメ其人血液稠厚、蒸發
氣多シ遅羅ノ人、乙百葛格安那、我カ分量ノ二十倍ヲ
用テ尚悪心セザル者アリ其黄孟ノ毒ヲ致サベル理
恐クハ茲ニ存セン凡硫黄ハ金屬ノ毒ヲ抑制ス頻ノ如キモ
硫ニ和メ銀朱ト爲リ黒須ト爲ル者ハ多服メ吐涎
セズ硫化亞爾加里第九十六章ハ頻劑ノ瞑眩ヲ治スル
ガ如シ類推スベシ

悉肱列緑第二百四十三章

シケーレス
グルーン

悉肹列氏白礬ヲ加里液ニ溶シテ硫酸銅液ニ和シ鮮麗緑色ノ顔料ヲ創製セリ之ヲ悉肹列緑ト謂フ（外篇藥物鑒定、酸化鹽酸類ノ條ヲ考ベシ）

○廣義悉肹列緑ノ製法

硫酸銅一匕半ヲ沸湯十六彬篤ニ溶シ別ニ半炭酸加里一匕半白礬十弓ヲ沸湯五彬篤ニ溶シ此二液ヲ温ニ乘メ和合スレバ美緑色ノ塩粉ヲ澱スヲ之ヲ沈定メ上清ヲ棄數〻水洗シ其澱ヲ漉布上ニ傾ケ乾ス所謂悉肹列緑ナリ

安質没尼第二百四十四章

アンチモニー。ウム、クリヂムナヨールレイキ、ゲズワーフルデ、スピースガラス　スピースガラス
立ルピュレヒュム、スチビ。ウム　漢名無シ
豫州方言マテガラ　塊石家ニ錫怯脂ト云

世所謂安質没尼ハ私知彪毋（ビウ）（原安質金ト稱シ古、安質私知彪毋ニ改ム以下同）ノ硫黄ヲ鹽ム者ナリ故ニ之ヲ先ツ烘煆（王ト名ルヲ今私カニ新名）メ硫分ヲ祛キ而後黒熔散（第二百三十六章）ヲ和メ熔化スレバ私知彪毋ト爲ル

○備要云安質没尼百分ハ私知彪毋七十四分。硫黄二十六分ヲ以テ成ル安質没尼ヨリ私知彪毋ヲ分ツ法ハ安質没尼二分ニ消酸加里一分。生酒石三分



国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ヲ和シ烈火ニ煆キ流動スルヲ候ヒ上寛ク下窄キ尖圓ノ型ニ脂蠟ヲ塗タルニ注ケバ則下底ハ私知彪母。中段ハ炭（按生酒石ノ炭）上段ハ硫化加里ニ私知彪母少許ヲ含ム者ト爲ル

○合藥舍密云舍密家ニテ單ニ安質沒尼ト稱スルハ生安質沒尼ニ非ス皆私知彪母ナリ

私知彪母第二百四十五章

私知彪母（アンチモニー、メタール　安質王）アンチモニー、コーニン

私知彪母ハ白光アリテ銀ノ如ク質酥脆ニメ碎ケ易ク（列氏三百四十五度）壘裂ノ處片ミ葉狀ヲ爲シ火ニ煆化シ易シ甘堝ニ納レ蓋テ熔シ火力足レバ昇華ス（白酸化安質）蓋ハズメ甘堝ニ煆セバ酸化ス

○私知彪母ハ異重六。八六零ノ如ク大氣ニ中テ甚タ鏽衣ヲ生セズ其昇華ハ白色ニメ雪華ノ如シ安質銀華（フロールス、アルゲンチ、スチビイー　スビー　スガ）ラン、スブルーム安質華　スピースガラン、スブルーム安質雪ト名ク之ヲ燃化スレバ深黃ノ玻瓈ト爲ル之ヲ安質玻瓈（ヒトリュムト謂ヒ陶器ノ磁器ノ黃キ）スチビイト謂ヒ第二百十九章）帝柰爾度云白酸化安質ハ私知彪母ハ十分酸素二十分ニ成ル○紐氏韻府ニ云私知彪母ハ攝光千里鏡ノ鑄活字料ニ入ル

鹽酸安質第二百四十六章

ミュリアス、スチビイソ。ウトミュールレ、アンチモニイスロリ子ム、スチビイ

安質ハ諸酸ニ溶解ス」細末トシ過酸鹽酸煑。同量ヲ和シテ餾スレバ受器ニ酪狀ノ物出之ヲ安質酪アンチモニイボートルト名ク即チ鹽酸安質ナリ

○紐氏韻府云。安質ノ微塵細末ヲ蘇魯林瓦斯内ニ納レバ自ラ焚テ明光ヲ發メ蘇魯林安質トナラン的焰ヲ發ス此即チ先輩ノ所謂安質酪ナリ㊟按ニ本條ノ法ヲ以テ餾スルキ餾器ノ頸ニ銀朱ヲ昇著スレバ安質朱ト謂フ其性常ノ銀朱ト少異ナシ

亞爾瓦琭知散第二百四十七章

ゲレイス、スピースカランス、エールステ、オキセイデ灰色第一酸化安質　ゲレイス、スピースガランスデ、オキセイデ

活煑　クヰツキ、デス、ドートス死煑　合藥問答云此劑往時ハ昇煑ヲ加ヘ製セリ故ニ此名アリ

鹽酸安質一分ニ水十二ヲ和スレバ白色ノ酸化安質沈降スヲ之ヲ亞爾瓦琭知散ト名ク　亞爾瓦琭知ハ意太里亞ノ醫人ノ名

韃爾答律斯粤黙知寃斯第二百四十八章

ウエインステーン、メト、スピースガランス、ゲスピースガランスデ、ウエインステーン、ブラーレ、ポットアスブラークウエインステーン

亞爾瓦琭知散ヲ酒石英ニ溶和スル者ヲ韃爾答律斯



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

粤黙知発斯ト謂フ

○葛氏舎密ニ引並度歇乙撲韃爾答製法論ニ云亞爾瓦琭知散九錢ニ酒石英二弓半ヲ和シ餾水七十二弓ニ煮テ蜜ノ稠ト シ之ヲ餾水ノ湯十二弓ニテ洗ヒ洗シテ澄ヲ取リ其塩ヲ餾水ヲ本澄ニ合シ煮テ乾セバ韃爾答二弓六錢ト爲ル如此多量ノ韃爾答ヲ製シ得ルハ餾水ノ徳ナリ常水ハ甘冽ノ泉ト雖モ必ス加爾基分アリ此加爾基酒石酸ニ和メ大ニ酸性ヲ敗リ且無用ノ酒酸加爾基ヲ生ス○此韃爾答一弓ニ精製消酸加里等量ヲ研和シテ熾紅ノ甘堝内ニ投スレバ嘩ト仏スル聲ヲ發メ焼灰ト爲ル之ヲ他ノ淨楚ナル甘堝ニ移シ炭末ヲ摻ケ瓦坯ヲ覆テ通紅ニ煆バ泡漲メ竟ニ流動ス於是滓リニ炭末ヲ摻ケ八分時烈火ニ爍シ火ヨリ出セバ精美ノ私知彪母一錢ヲ得

## 結爾黙斯密涅剌列第二百四十九章

スチビウム、ヒドロチオニュム、オキセイデュム、スワーフルワートルストフ、スピースガランス

ビュル、ビュル、スチビア、ビュム、ヒドロビュル、ハス、アンチモニイ

生安質沒尼ヲ苛性加里液ニテ煮テ冷セバ赤色ノ粉沈降スヲ結爾黙斯密涅剌列ト謂フ



国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

○廣義云結爾黙斯ノ製法。燥濕兩道アリ燥道ノ法ハ精製加里生安質各四分。硫黄華四分一ヲ和シ甘堝ニ納レ蓋テ烊シ鋭鉢ニ傾ケ冷シテ搗末シ此末ニ沸湯五十倍ヲ注キ八分時間。手ヲ駐メズ攪セ者少時攪動ヲ歇メ熱ニ乘メ無膠紙ヲ襯キタル布ニテ漉シ冷セバ漉澄中ニ赤粉ヲ沈降ス鍋ニ殘ル滓ニ又水ヲ加ヘ前ノ如ク煮テ漉シ又沈粉ヲ収ム如是スル十數回ニメ沈粉ヲ一漉布ニ集メ清水ヲ以テ洗ヒ微温ヲ以テ陰乾シ壜子ニ固封シ貯フ

濕道ノ法ハ生安質細末一分ニ硫黄四分一ヲ和シ苛性加里滷。清水各二十倍ヲ以テ煮。沈粉ヲ得ル前ノ如クス○或煮法ヲ用ヒズ鹽酸ヲ滷ヲ和スレバ加里ハ鹽酸ニ和シ半酸化安質ハ硫化水素ニ和メ結爾黙斯ヲ生ス

附録　金硫黄　スチビウム、ヒドロチオニキュム、オキセイデ　オキセイデュム、オキシエコレ。ウリヘ、スピースガゲナテュム　ランス、スワーフル橙黄安質硫ヒドロテュルパス、スチビイ、テュルヒュラテュス

○結爾黙斯。金硫黄共ニ酸化安質ニ硫化水素尼斯ノ多少ヲ含ム者ナリ但其酸化ノ色。硫化水素尼斯ノ色同ガラザルノミ○帝柔爾度ガ二物ノ成分比例ニ



国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

結爾黙百錢八赭色酸化七十二錢硫化水素瓦斯十二錢二分九厘八毛硫黄四錢一分五厘六毛減耗及水分二錢七分六厘

金硫黄百錢八橙色酸化六十八錢八分七厘七毛硫黄十一錢七分三厘減耗二錢零九毛

○此劑ヲ以テ銀器ヲ磨擦スレバ黄金色ヲ發ス故ニ金硫黄ノ名アリ

○硫化安質酸化ニ、ルヒレ、ムカルキス、スチゲスワーフルデスピースガラスカルキス、アンチモニイ、ブロムカルキヒラタ

和蘭局方ニ精製半炭酸加爾基十六分。生安質没尼。硫黄各四分。右擣末メ甘堝ニ納レ其上ニ半炭酸加爾基厚サ寸許ヲ覆テ爐ニ安シ紅煆スルコト四分時。取出シ覆タル加爾基ヲ除キ下ナル赭色ノ燒灰ヲ石臼ニテ擣末シ壜子ニ固封ス

○安質雜腹蘭　コロキントニ、ハルス、スピースガラス、アンチモニイ、ブロムメタールサフラン

生安質没尼。消酸加里。各等量ヲ各別ニ研末シテ和匀シ少許宛取テ熾紅ノ甘堝ニ投シ投シ了テ甘堝ヨリ出シ白色ノ處ヲ去リ赭色ノ處ヲ細末シ清水ヲ以テ洗淘シ乾シ貯フ

○安質没尼葱波列　オキセイデムスチビイ、ノニ、アブロムウィットカ



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

リホ。ウデンデ、スピース
ガラニスオキセイデ
生安質一分。消酸加里二分半ヲ各別ニ研末シ和匀
シ少許宛取テ熾紅ノ甘堝ニ投シ錬筋ヲ以テ攪セ
投シ了テ尚八分時ノ間火中ニ置キ研末シ固封貯。
○私知彪毋ニ消酸加里ヲ和シテ煆ク者。亦安質没
尼葱波列ナリ之ヲ鑛性楂達石子ベソアルヂキュム、ミ
ストッセレイ　ラーレ　メイン
キベソアル又安質粉セーリュームアンチモニザト名テ常品ニ別ッ
○安質没尼葱波列ヲ清水十倍ニ和シ硫酸ヲ加テ
加里ニ飽シメ酸化安質ヲ沈降シ清水ヲ以テ數〻
洗澱ヲ洗ヒ洗汁。味無ニ至テ乾ス之ヲ洗過安質没



尼葱波列スチヒウム、チアポレチキュム、アブト名ク
ヲ硫酸ヲ加ヘ飽シメ沈降セル粉ヲ眞珠粉
○洗汁ニ硫酸ヲ加ヘ飽シメ硫酸ヲ加ヘズ煮テ芒ヲ結、
マテリアペルラタト謂ヒ硫酸ヲ加ヘズ煮テ芒ヲ結、
パールヽストフト謂ヒ硫酸ヲ加ヘズ煮テ芒ヲ結、ト名
ク即チ硫酸加里ナリ○芒ヲ結シメズ煮乾シタル者
ヲ曜多律毋。安質没尼印斯碧斯沙去毋ト名ク硫酸
加里。消酸加里。酸化安質ノ三物。清雑スル鹽ナリ

## 酸化滿俺第二百五十章

ペーロオキセイデュム、マンガ子シイ、ニグリュム、ナ
テュールレイキ、スワルト、ラート、トステ、ブロインステ

滿俺原麻倔涅斐母ト署セリ苦土ノ元素ニ
ト同名ニメ混センコヲ恐レ新名ニ改ハ金屬ナレ
氏天然ニ金形ヲ爲ス者莫シ多分ニ酸素ヲ含テ酸化
シ黒色ノ鑛石ト爲テ産ス之ヲ蒲呂印斯的印ト名ク
○此黒鑛ヨリ金分（滿俺）ヲ分ツ法ハ其鑛ヲ細末シテ瀝
青ヲ和メ甘堝ニ納レ堝内ニ木炭末ヲ布テ厚四分寸
周圍ニ繞ラスヿ厚サ十分寸ト
シ尚空隙アレバ炭末ヲ
塡メ密ニ蓋ヒ玻璨窯（ヨウ）ノ如キ烈火ニ煆（カ）ヿ半時ニメ冷
シ堝ヲ壞レバ金形ニ還ル（按ニ本說沙布答爾ノ法ニ據レリ）
○按ニ蒲呂印斯的印。或ハ亞鉛鑛ト
類ト云ヒ林娜斯ハ鐵鑛ノ屬トス、種金屬ノ酸化一

メ其金屬ハ一元素タルヿハ近時ノ發明ナリ此鑛
初テ麻倔涅悉亞島ニ得タルニ因テ麻倔涅悉亞ノ
名アリ炭酸苦土モ白麻倔悉亞ト稱メ之ニ別ツ○（裕カ藏弁スル舶來
黒麻倔涅悉亞ト稱メ之ニ別ツ○蒲呂印斯的印ハ
形狀色質生安質沒尼ニ似テ重ク其體全ク束針狀
ヲ爲シ一縱一横彼此ニ錯亂シ外面黒粉ヲ發シ弄
スレバ手指ヲ汚スヿ石墨ノ如シ水ニテ洗ヘバ黒粉
去テ鉛光ノ束針甚タ鮮美ナリ第三十圖ノ如シ
○玻璨ニ加（カ）燐セバ其炭性汚物ヲ消シ雜色ヲ祛ク
ヿ猶錫布ノ膩汚ヲ去（ル）カ如シ故ニ玻瓦錫布（サポニトリ）
ノ別名アリ緑色下品ノ玻璨四錢ニ此鑛一匁半ヲ
加（カ）燐セバ已ニ瑩白ト爲ル況ヤ尋常玻璨ノ汚色ヲ



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

消除スルニ於テハ僅ニ加テ足ルヿ知ベシ多ク加ヘハ却テ青色或紫色ヲ發ス

○廣義。利母滿氏之還元法云酸化滿俺ノ細末ヲ亞麻油ニテ煉捏シ礬土。木炭末ヲ以テ裡面ヲ墁リタル甘堝ニ納レ蓬酸曹達ノ細末ヲ撒ケ樺炭末ヲ其空隙ニ塡メ鼓鞴ヲ設テ一時許閒煆バ盡ク酸素ヲ脫メ還元ス

滿俺第二百五十一章

滿俺紐母　マンガーン
タール　マグ子シ。ウム

滿俺ハ澹灰白色ニメ破折ノ處光輝アリ大氣ニ中レバ黑色ノ粉ニ化ス卽チ酸化滿俺蒲呂的斯的ノ印ナリ○酸化滿俺ヲ列篤爾多ニテ乾餾スレバ酸素瓦斯ヲ發ス硫酸ヲ加ヘ餾スレバ更ニ之ヲ發シ易ク且多ク發ス三十一章

○廣義云滿俺ハ蒼灰色ニメ光輝アリ質堅剛キヿ鐵ニ亞キ脆メ碎ケ易シ餾水ヨリ重ヿ七倍許。破摧ノ處。粟紋ヲ爲ス越素及瓦爾華氣ヲ導引ス」

滿俺ノ酸化數度アリ各等ノ酸化ヲ爲ス今百忙ノ滿俺。黑色ニ酸化スレバ其量增メ百六十八忙ト爲ル然則本質半量餘ノ酸素ヲ受ク水槽ヲ裝メ之ヲ餾スレバ其酸素。酸素瓦斯ト爲テ鐘内ニ出。其滿俺



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

淡色ヲ爲ス之ヲ大氣ニ曝セバ復タ氣中ノ酸素ヲ引テ黒色ノ酸化ト爲ル

滿俺和酸第二百五十二章

滿俺ハ諸酸中特ニ消酸ニ溶易シ其溶液ニ亞爾加里ヲ加レバ白粉ト爲テ沈降ス○黒色酸化滿俺ハ已ニ酸素ヲ含ム大過ナルニ因テ復タ消酸ニ溶ケ次消酸ニ蔗糖少許ヲ和シ温溶セバ乃チ溶和ス

○廣義云滿俺ハ鐵分ヲ含ム者多シ消酸ニ浸セバ劇ク沸漲メ消石瓦斯ヲ發メ溶和シ赭色ノ液ヲ爲ス此レ其本來ノ色ニ非ス所含ノ鐵分ノ色ナリ但シ黒色酸化ノ滿俺ハ消酸ニ僅ニ少ク溶ケ硫酸ニハ甚タ溶難シ蓋シ已ニ多分ノ酸素ニ飽テ復タ酸素ノ需無キガ故ナリ之ヲ溶サント欲スル酸精ニ蔗糖或蜂蜜等凡ソ酸精ノ酸素ヲ奪除スル物少許ヲ加レバ則其酸精ノ酸素ヲ脱メ亞性酸ト爲リ此亞性酸ニ化滿俺ノ酸素ヲ稟ケ全性酸ト爲テ夫酸素ヲ稟テ酸化鹽酸ト爲ル

減少セル滿俺ヲ溶解ス

製酸化鹽酸理第二百五十三章

黒酸化滿俺ヲ常ノ鹽酸ニ加テ餾スレバ鹽酸其酸素





国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

○按ニ舊說ナリ其義第百二十一章ニ增注セリ

烊ニ和ス蓬酸曹達第二百五十四章

酸化滿俺ニ蓬酸曹達ヲ和シ吹管ヲ以テ鼓煽シ煆ハ其焰。内心色無ク外面青シ或ハ消酸加里少許ヲ加ヘ燦スモ亦然リ

## 鑛性加默良第二百五十五章

カメレオン、ミネラーリス　ミネラーレ、カメレオン

○按ニ加默良ハ漢名蝘蜓、一名十二時蟲○坤輿外紀云、亞細亞州如ー德亞國産ル獸、名ク加默良、皮如ニ水氣一明亮隨ー物變ー色ー海島逸誌ニ云蝘蜓狀如ニ蜥蜴一長五六寸、身高脊騰、尾長鱗細、其行甚捷、捷於ニ綠葉之上一則其身之色青、行ニ於灰一則身之色白、行ニ於炭一則身之色黑、其身能ク隨ー地之色一而變ー幻ス○蘭山翁豫州産守宮一種、七分蛇ノ如クニテ十二時蟲ニ近シト云、

酸化滿俺細末一分ニ消酸加里細末三分ヲ和シ甘堝ニテ煆ケバ消酸加里。分離シテ酸化滿俺ト加里ノ和合物ト爲ル○此劑奇性アリ水ニ點スレバ水ノ多少ニ隨テ色ヲ異ニス水少キキハ綠色ト爲リ水多キキハ青色ト爲リ漸ク紫色ニ入リ終ニ紅色ニ變ス其色ノ多樣ニ渝變スルヿ加默良ノ如シ故ニ之ヲ鑛性加默良ト名ク○但些ノ硫酸氣アレバ此性脫ス

○廣義云鑛性加默良ハ水中ノ游酸ヲ驗スル試藥ニ用フ」其用法外篇ニ詳載ス

和ス硫酸燐酸第二百五十六章



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

滿俺。硫酸或燐酸ニ溶解スル液ハ玫瑰色ニメ其色日光ニ遇ハ消褪シ暗處ニ置バ復タ紅色ヲ生ス蓋シ滿俺。大陽ノ光素ニ因テ其酸素ヲ脫スルガ故ナリ第十三章

○廣義云硫酸滿俺ニ様アリ其一ハ酸素最多キ者ニメ深菫花色ニメ其一ハ酸素最少キ者ニメ色無シ其一ハ酸素最多キ者ニメ深菫花色

舍密開宗内篇巻十四終



宇田川榕菴　重譯增註

## 箇抜爾多第二百五十七章

箇抜爾多　カ

箇抜爾多　コボルト　ドミアヽナヲ云ヘホシレアヽ

箇抜爾多。金形ヲ爲ス者ハ價貴メ精銀ニ次ク此金ハ氣ニ中レバ鏽衣ヲ生ジ易シト雖モ火ニ煆バ却テ著ク酸化セズ　按ニ鉛錫等ノ火ニ煆クバ速ニ酸化スルニ異ルヲ謂

○箇抜爾多ハ特生ノ者無ク常ニ酸化メ産スルヲ以テ從來ノ山物家ハ之ヲ金屬トセズ一種ノ石類

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

トス千七百三十二年享保十七年浦郎度氏初テ金屬ナルコヲ發明セリ○色鉛ノ如ク質脆ノ碎易ク碎破ノ處細粟紋ヲ起メ糙ク（ザラク）ス堅錫ニ亞キ水ヨリ重キ六七倍。鎔化ノ度大抵金銀ノ如シ能ク溫素。越力。尼爾華尼氣ヲ導達シ又鐵ノ如ク磁石ニ吸著ス或ハ鐵ヲ含ムニ因テ然リト謂ハ是ニアラズ

隱顯墨第二百五十八章

シムパチセイインキト

箇抜爾多ヲ消酸或鹽酸ニ溶和シ此液ヲ以テ紙ニ書シ乾テ筆蹟見ヘザルヲ微ク火上ニ烘レバ藍色或ハ綠色ノ字顯來ル儻シ常ノ墨ヲ以テ葉落枯樹ヲ畫キ此溶液ヲ以テ葉ヲ點綴シタル者ヲ烘レバ便チ蓼ト葉ヲ生シ綠陰菊鬱ノ觀ヲ作ス紙冷レバ其葉復タ自ラ凋零ス亦學場ノ遊戲タリ按ニ蒼鉛ヲ消鹽酸ニ溶シタル液ヲ以テ書畫ヲ畫キ烘レバ黃色ヲ發スト云

○廣義云鹽酸ハ煮沸ノ熱ヲ假ザレバ箇抜爾多ヲ溶解セズ薩勿爾ハ善ク溶解ス

○綠色隱顯墨法

藥舖指南云箇抜爾多或酸化箇抜多畫燒青二錢ヲ消酸ハ錢ニ溶シテ赤液トシ鹽酸曹達二錢。餾水ハ錢



国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

許ヲ和ス」水ヲ和セザレバ紙ヲ焦爛ス①又方。箇抜爾多ニ鹽酸譜摸尼亞ヲ和スレバ譜摸尼亞ハ飛散シ鹽酸ハ箇抜爾多ニ和メ綠色ノ鹽ヲ爲ス即鹽酸箇抜爾多ナリ之ヲ水ニ溶メ色無キニ至リ用フ

○藍色隱顯墨方

舍密備要ニ云酸化箇抜爾多ヲ醋酸ニ溶シ鹽酸曹達少許ヲ和シ畫ケバ烘テ青色ノ畫ヲ現ス

○玫瑰色隱顯墨方

箇抜爾多鑛ノ佳ナル者ヲ消酸ニ溶シ消酸加里ヲ和スレバ玫瑰色ノ隱顯墨ヲ爲ス○或ハ箇抜爾多鑛ヲ消酸ニ溶シ乾シ餾水ニ溶セバ血紅色ノ液ヲ爲ス此液ニテ畫キ石墨ヲ以テ其上ヲ輕ク摩リ烘レバ紅色ト菫花色ノ間色ヲ發ス

玫瑰色澱第二百五十九章

箇抜爾多ノ溶液ニ修酸ヲ和スレバ玫瑰色ノ澱ヲ沈降ス

○黑酸化箇抜爾多ハ沸淬メ鹽酸ニ溶ケ酸化鹽酸兎斯ヲ發ス（按ニ酸化滿俺ヲ鹽酸ニ和メ酸化鹽酸兎斯ヲ發スルニ同シ第百二十一章）鹽酸力強キハ溶液綠色ヲ發ス之ヲ靜定スレバ十



鑛ヲ消酸ニ溶シ加里鹽ヲ滴メ沸淬歇ムニ至リ蒸散シ乾シ餾水ニ溶セバ血紅色ノ液ヲ爲ス此液ニテ畫キ石墨ヲ以テ其上ヲ輕ク摩リ烘レバ紅色ト菫花色ノ間色ヲ發ス

玫瑰色澱第二百五十九章

箇抜爾多ノ溶液ニ修酸ヲ和スレバ玫瑰色ノ澱ヲ沈降ス

○黑酸化箇抜爾多ハ沸淬メ鹽酸ニ溶ケ酸化鹽酸兎斯ヲ發ス（按ニ酸化滿俺ヲ鹽酸ニ和メ酸化鹽酸兎斯ヲ發スルニ同シ第百二十一章）鹽酸力強キハ溶液綠色ヲ發ス之ヲ靜定スレバ十



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

二時ノ後紫色ト爲ル或水ヲ和スレバ頓ニ玫瑰色ヲ發ス

（附録）箇拔爾多緑（グルーン）

此ハ緑色ノ顔料ナリ其色酸氣。日光。大氣ニ變セズ銅緑ノ儔（ヒ）ニ非ズ又白粉ヲ和スベク水油諸畫ニ通用スベシ○製法。亞鉛ハ錢ヲ消酸四十二錢ニ溶シ酸化箇拔爾多四錢ヲ隱顯墨ノ如ク溶シテ此ニ和シ清水十五倍或二十倍ヲ加テ稀クシ半炭酸加里鹵ヲ滴スレバ初ニ亞鉛白粉ト爲テ沈シ次ニ箇拔爾多赤粉ト爲テ沈ム赤粉沈シ了ルヲ候テ漉布ニ紙ヲ布テ漉シ紙上ノ澱ヲ湯ニテ淘ヒ乾シ甘堝ニテ熾紅ニ煆バ漸ク緑色ト爲ル但其深淺ハ火ノ強弱ニ從ヒ火烈ナレバ緑色深シ

薩勿爾　藕馬爾多第二百六十章

（サツアル　サツフロール　○按ニ漢名項圓子、黒赭石、畫燒青、無名子、和名ゴス、青ゴス、茶碗グスリ、尾州ニ出ル下品ナリ能登安田元藏氏ノ説ニ本州羽喰郡土田庄火打谷村ノ山ニ産スト云カ州諸國ノ瓷家ハ皆舶來ノ者ヲ用フ年ニ萬里ノ漢渡多シ一升屋藤兵衛者盡ク贋テ諸州ノ陶家ニ分販スト云フ）

薩勿爾ハ酸化箇拔爾多ナリ此ヲ爍化メ深紺碧ノ玻璃トシ以テ藕馬爾多（ルタ）ヲ製ス

○廣義云薩勿爾ハ酸化箇拔爾多ニ砂ヲ和メ製ス



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ル者ナリ沙瑣泥亞（サキセン）ニ箇拔爾多坑多シ居人其鑛石ヲ火ニ烘テ硫黄。砒分ヲ去リ蒼鉛分ヲ烊シ分チ白砂或石英（ヒヲカ）末ニ三倍ヲ攪拌メ薩弗爾トシ諸國ノ陶家ニ賣ル砂ノ多少ニ隨テ價ニ貴賤アリ

〇製蘗馬爾多（ニヲル）ノ法

酸化箇拔爾多ヲ玻瓈ニ烊和シ或薩勿爾ニ半炭酸加里ヲ烊和ス沙瑣泥亞ニ專匠アリ夥ク製メ遠近四方ニ貨ス大抵精好ノ箇拔爾多鑛ニ白砂。半炭酸加里。各同量。或半量。或三分一ヲ和シ礱磨（リウスニテヒヤ）一回ニメ六箇ノ大甘堝ニ分チ納レ一竈ニ裝シ烈火ニ燥（ス）ル



四時。烊テ水ノ如ク流動スルヲ候ヒ大銕匙ヲ以テ抄ヒ水ニ投メ紺碧ノ玻瓈碎トス其色ハ砂ト加里半箇拔爾多ノ分量ニ從テ深淺アリ之ヲ碎末シ水ニ和メ礱（ロキウス）ヲ以テ磨キ水ニ漂起（ヲルテ）メ上ノ濁ヲ取テ澄シ上清ヲ棄テ靛青ヲ收ム卽チ蘗馬爾多ナリ濁ヲ取テ殘タル粗澁ハ又水ヲ和メ磨キ漂起澄清スルヿ如前ニメ靛青ヲ收ムベシ〇蘗馬爾多ニ種アリ色淺キヲ亞修爾（アシヤル）青ト稱シ色深キヲ英圭黎（アンゲリア）青ト稱ス　按ニ予カ弄藏スル蘗馬爾多ハ甚タ細微ニメ色白清ノ如シ所謂亞修爾青ナルベシ亞修爾青ハ梅花青ナリ從來舶來多メ坊間ニ花紺青ト呼フ者ハ粗末ニメ色深シ所謂英圭黎青ニメ漢人ノ稱ス



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ル蘊泥勃青、回青、宣青、ノ類ナルベシ（天工開物ニ回青ハ乃チ西域ノ大青、美キ者亦名ヲ佛頭青ト上料ト）

## 尼結爾第二百六十一章

瞞古律毋コーブル、ニッケルコーブルウール銅娼ケル

尼結爾ハ消酸。又鹽酸ニ溶和メ緑色ノ液ヲ為ス此液ニ諳摸尼亞ヲ和スレバ青色ノ澱ヲ沈降ス卽チ酸化尼結爾ナリ其澱復タ酸ニ溶解セス

○尼結爾。金形ヲ為ス者ハ膚粟紋ヲ起シ破裂ノ處片々葉狀ヲ疊ミ色白ク或黄ヲ帶ヒ或銅色ヲ帶ブ至剛ニメ銼刀ヲ受ケズ水ヨリ重キ九倍ニ近シ然ヒ特生ノ者稀ナリ大抵礦。箇抜爾多。鍊分ヲ含テ鑛ヲ

為セリ法ヲ以テ此ヨリ王分ヲ分ベシ

○葛氏舍密分ニ尼結爾王分ノ法

其鑛ヲ烘炙メ綠色トシ黒熔散（第二百三十六章）ニ三倍ヲ和シ其上ニ海鹽ヲ蓋ヒ爐心ニ安シ雙吹胞（テウフ）ヲ鼓メ烈火ニ鎔セバ赭色ノ灰底ニ王分殘ル大抵鑛百斤ヨリ王分十斤至五十斤ヲ得ベシ此王未ダ純精ナラズ礦。箇抜爾多。鍊或硫黄ヲ含ム故ニ此ニ硫黄ヲ加テ一晝夜爐中ニ爍スベシ如此スルヿ凡三回ナレバ礦分ハ炭素ト共ニ去ル火度ハ鍊ト金銀トノ間ノ度ヲ用ベシ」



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

學ノ試用ニ便ナラズ故ニ略ス

◎按ニ近來發明ノ新金新元素多シ所謂 撲爾弗 刺密烏毋 知旦紐毋 羅曹毋 巴爾 刺曹毋 阿斯繆毋 蒲羅密烏毋 意利曹毋 伊阿曹毋 攝列紐毋ノ類ナリ蒲羅密烏毋伊阿曹毋ハ別爾入略元素ト七ズ未詳ノ一素ニ酸素ノ加テ成ル物トス

水鉛 莫列顋達紐毋 ワトルロトド

舍密備要云。水鉛ハ半金ナリ水ヨリ重キ六倍。諸酸ニ溶解ス此ニ亞酸化錫ヲ和スレバ青色ノ顔料ヲ

廣義云尼結兒ハ山酸ニ溶化ス其酸化ニ蓬酸曹達ヲ和シ烊セバ喜亞聖多赤寶石名色ノ玻瓈ヲ成ス但シ硫酸ハ醇厚ノ者ニメ火力ヲ假ザレバ溶ケズ消酸ニハ至テ溶易ク其溶液青綠色ニメ青色ノ斜方晶ヲ結ブ此晶大氣ニ中レバ流動シ温レバ風化メ粉ト爲ル◎尼結兒磁器及玻瓈ノ綠顔料ニ用フ

新金屬第二百六十二章

前ノ諸章ニ舉ル金屬ノ外。輓近ニ至テ發明スル金屬尚多シ所謂水鉛。烏剌紐毋。的爾律留毋。斯魯密烏毋。格綸彪毋。旦答律毋。ノ如シ此諸金概得難ク價亦貴シ初

成ス之ヲ青加爾泯（ブラークカルミン）ト名ク

◎廣義云水鉛鑛ハ水ヨリ重キ四倍余。脆ク碎易ク滑膩ニメ弄スレバ手指ヲ汚ス一石墨第二百七章ノ如シ此二物。外相甚タ相似テ紛レ易シ然レ𪜈相同カラザル明徴アリ左ノ如シ」石墨ハ質粒ニヲ爲シ水鉛ハ敲破スレバ段ニ片碎シ又力ニテ擘裂スベシ石墨ハ手ニ觸テ軟ク膩氣ヲ覺ヘ甚タ指ヲ汚シ水鉛ハ紙ニ書メ筆蹟青ク銀色ヲ帶ヒ石墨ハ黒シ水鉛ハ煆バ硫氣アリテ焚ヘ石墨ハ然ラズ水鉛ハ摩擦シテ華爾斯ニ消性越力（第五章ヲ傳ヘ石墨ハ然ラズ水鉛ハ磁坩ニ畫テ燒バ綠畫ヲ爲シ石墨ハ赭色或赤色ノ畫ヲ爲ス

◎水鉛甚ク酸化スレバ酸ヲ成ス之ヲ水鉛酸（アシデム）ト謂フ此酸（モリブダーニューム）味酸メ植物ノ青花ヲ紅變シ消酸重土。鹽酸重土ヲ分離シ亦能ク土類。亞爾加里金屬ニ親和メ鹽ヲ成ス

舍密原本製水鉛酸法（ニ）

水鉛鑛一分ヲ列篤爾多ニ納レ水四分一ヲ和スル消酸五六分ヲ加テ餾スレバ消酸ノ酸素一分ハ水鉛ノ金分ニ和メ酸化水鉛ト爲テ器底ニ殘リ一分



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ハ水鉛ノ硫分ニ和メ硫酸ト爲テ受器ニ出（廣義云受器ハ腹ニ孔ヲ穿ツ）其器底ノ酸化水鉛ヲ取リ又消酸同量ヲ和シ餾スル〻四五回（廣義ニ二三回ニ作ル）赤烟發セザルニ至レバ白粉ト爲ル即チ水鉛酸ナリ之ヲ數〻餾水ニテ洗ヒ硫酸氣ヲ除キ貯フ

烏刺紐母（ウラニウム）

（烏刺紐母ハ近世發明スル新金屬ナルヲ以テ近創見セル新星、烏刺紐斯ノ名テ資テ此ニ名ク下云）

烏刺紐母ハ一千七百八十九年（寬政元年）加羅布邏多（カラプロト）氏沙頑泥亞産ノ綠雲母（ペウキブレンダ）中ニテ發明スル新金屬ナリ此金ハ滿俺ヨリハ燐化シ難シ然ト質剛ナラズ鉇刀ヲ受ク外面蒼灰色。（ヤスリ）内ハ鮮赭色水ニ比メ一千ト六千四百四十ト〻如シ

諸酸ニ溶化ス稀硫酸ニ溶テ硫酸烏刺紐母ヲ爲ス此鹽拘攣色ノ細柱ニメ酸ニ過飽スル者ト雖モ姜黃紙ニ點スレバ老虎色ヲ發スルヿ亞爾加里ノ如シ〇消酸烏刺紐母ハ六稜薄葉片ニメ淡綠色ナリ亦タ亞爾加里ノ徵アリ〇鹽酸烏刺紐母ハ黃綠色ノ方稜晶ヲ爲ス

烏刺紐母ハ土類ニ和メ玻瓈ヲ成ス熔化劑ヲ加テ礬上ニ爍和スレバ橙黃色ヲ爲シ石英末ハ分ニ半



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

炭酸加里四分。酸化烏剌紐母十分ヲ和シ燦セバ鮮赭色ノ玻璨ヲ成シ半炭酸加里ヲ曹達ニ代レバ灰黒色ヲ爲ス」石英末。枯蓬砂。各八分ニ烏剌紐母一分ヲ和燦セバ薫色多把斯ベロークテニ寨スベキ玻璨ト爲リ」玻璨様燐酸第百三章八分ニ酸化烏剌紐母半分ヲ燦セバ祖母琭色ノ玻璨ヲ爲シ」精珪土。玻璨様燐酸各八分。酸化烏剌紐母一分ヲ燦和スレバ頻婆緑ノ琺瑯ヲ爲ス

的爾律僧母

的爾律僧母モ亦タ加羅布邏多氏ノ發明ニ出。色鉛ニ似テ光彩之レニ過ク鎔メ鑄ル者ハ砕ケバ片ミ葉質ヲ爲シテ頗ル安質沒尼ニ類セリ列篤爾多ニテ密封メ燦セバ熔テ頽珠ノ如ク列篤爾多ノ腹ニ昇ル水ニ比例メ一千ト六千百十五トノ如シ

斯魯密烏母

スロミ。ウム、メタール○備要云斯魯馬比ニ色ト譯ス此金、多般ノ色光アリ故ニ此名アリ

斯魯密烏母ハ黄白色ノ半金ナリ消鹽酸ニノミ溶化メ緑色ノ酸化ヲ爲ス他酸ハ之ヲ溶化セズ○般劫葬曰吹胞ヲ以テ熔セバ桃花色ノ苔ヲ被リ此苔冷レバ緑色ニ變ス酸化斯魯密烏母ニ蓬酸曹達ヲ



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

和スレバ祖母綠色ノ玻瓈ヲ爲ス

分ニ斯魯密烏母之金分法

酸化斯魯密烏母ヲ炭末ニテ内面ヲ墁タル甘堝ニ納レ煆金家ノ鼓鞴ニテ四分時ノ間煽キ爍セバ還元メ金形ヲ爲ス

格綸彪母

格綸彪母ハ近世。加列兒法多攝的氏。北亞墨利加所産ノ鍊鑛中ニ於テ發明セル新金ナリ金形ヲ爲メ特生ヒズ常ニ酸化メ産ス◯鹽酸硫酸共ニ熱スル者ニ溶化ス此溶液ニ沒食浸ヲ和スレバ橙色ノ澱ヲ生シ靑酸鹽類ヲ和スレバ綠澱ヲ生シ亞爾加里ヲ加フレバ白澱ヲ生ス

旦答律母

廣義云一千八百三年（享和三年）紫乙紫爾氏尼獨律多石數種ヲ會乙結別爾孤氏ニ贈リ且分離ノ法ヲ議スル會乙結。乃チ鑒識メ石中一種ノ金屬アリ甲ハ其金苦土ト酸化鍊ニ雜乙ハ依多爾土（第百六十九章）ト鍊ニ雜テ以テ其石ヲ成スヲ發見シ甲石ヲ旦答律多ト名ク而メ旦答律多ハ乙石ヲ依多里亞旦答律多ト化合ムト測定セリ



国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

擄爾弗剌毋

擄爾弗剌密烏毋　テンングステーン、メタールスワールステーン、メタール

擄爾弗剌密烏毋ハ銅鋌色ノ半金ナリ水ヨリ重キ七倍余。水ニ比メ百ト百七十六トノ如シ消酸或消鹽酸ニ溶テ黄色酸化ヲ爲ス」質稍鍛性アリ亞鉛ニ近シ爍化シ難キ「滿俺ニ過テ白金ニ近シ酸ニ和メ擄爾弗剌毋酸アシヂム、ウォルフラミキュムト爲ル（此テンングステーン、タールト）金ハ重石或擄爾弗剌毋ヨリ取得ベシ所謂重石テンングステーハ加爾基ト擄爾弗剌毋ハ加爾基。擄爾弗剌毋及ヒ



其酸ニ成ル鑛石ナリ

舍密原本製擄爾弗剌毋酸法

重石細末十分ニ半炭酸加里四分ヲ和シ白金甘堝第百七十九章ニテ爍シ冷後研末シ之ヲ沸湯十二分ニ溶シ消酸ヲ加テ加里ト飽和セシムレバ擄爾弗剌毋酸沈降ス之ヲ復タ消酸ニ和シ煮テ乾ス乃擄爾弗剌毋酸ナリ（十）此酸ハ苛烈ノ鑛味アリ酸味薄弱ナリト雖モ全ク酸性ヲ備テ勒佉毋斯浸ヲ紅變シ亞爾加里。諳摸尼亞。土類ニ和メ鹽ヲ爲シ蓬酸曹達ニ爍和メ碧玻瓈ヲ爲シ錫液ニ和メ青色ノ酸化沈降

ニ燃体ニ和シ煆バ還元ス又ニ味ヲ青色ニ變ス

知旦紐母（ヂタンニウム）

マナカニーズ、メタール

知旦紐母ハ千七百九十五年寛政七年加羅布羅多氏（カラプロート）翁ノ創見セリト云

加里亞（カリア）ニ産スル羅德斯古耳（ロードスコルン）ト名ルルブルム、ト名ル石ヲ分離メ偶ニ此金屬ノ酸化物ヲ創見セリト云

○此金ハ消酸鹽酸硫酸ニ溶解ス溶液ニ亞爾加里ヲ加レバ白塗ヲ生ジ沒食酸ヲ加レバ赤赭色ノ渣ヲ生ス

般劫（パラヂウム）斐分（パラヂウム）此金ヲ法

羅德斯古耳ニ百分ニ枯蓬砂。木炭末。各五十分ヲ和シ油ヲ以テ泥塊トシ裏面ニ炭末泥ヲ塗タル甘堝ニテ半時或四分時間。物度（ボルカ）業（ヘーゲ）五（ゲルマー）獨（ボ）氏ノ百羅墨多爾第百五十七章百六十六度ノ鴻爐ニ爍セバ墨色ノ金塊ヲ爲ス外面銅光アリ裏面蜂窠ヲ爲シ美黃ニメ銅光ヲ帶フ甘堝ノ裏面モ銅光苔ヲ被リ大氣ニ觸レバ虹彩ヲ發ス

意利曾母（イリヂウム）

意利曾母ハ千八百四年文化元年天南杜（テナント）氏。白金中ニテ發明セル新金ニメ其溶液ニ諸色間雜スル故ニ此



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

名アリト云形色白金ニ似テ其區別ハ此金王水ニ溶ケズ鉄刀ニ擦テ白金ヨリ剛ク槌テ延張セズ光燄閃耀(キラメク)ナリ白金ヨリ此金ヲ分ツ法ハ白金ヲ王水ニ溶セバ白金ハ溶ケズメ粒ヲ為シ残ル他ノ諸酸ニハ溶解ス特ニ鹽酸ニ溶テハ稜柱晶ヲ結ブ亞爾加里ヲ和スレバ酸化メ沈降ス其酸化太過ナル者ハ深紅ニメ不及ナル者ハ緑色或深青色ナリ此酸化ハ煆バ酸素ヲ脱メ卽チ還元スルコト黄金白金銀等ノ酸化ノ如シ

羅嘗母

羅嘗母ハ醫五爾剌斯敦ガ創見スル處ノ新金ナリ剌斯敦贈書醫馬爾設多白白金雜ル多般之新金向天南杜君就其王水溶過之滓脚中創見新金阿斯繆母者僕亦發明一樣新金于白金滓中一名羅嘗母一名巴爾剌嘗母所謂羅嘗母者溶之王水為玫瑰色之紅液云云

巴爾剌嘗母

此金白金ニ雜テ白金坑ヨリ出。或ハ黄金ニ雜リ産ス千八百三年享和三年五爾剌斯敦諳厄利亞ニ於テ發見セリ之ヲ去年發見ノ新星巴爾剌斯ニ配當メ巴



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

爾剌曹母ト名ク紐氏韻府二千八百二年享和二年第三月二十八日獨乙蘭上人、阿爾別爾斯者蒲列緬ニ於テ新星ヲ發見セリ巴爾剌斯ト名ク云

白色堅剛ニメ粘靭不斷ノ質アリ破裂ノ處。束針紋アリ酸素瓦斯ノ鼓鞴ニテ吹ザレバ鎔化セズ（按ニ第四十三章ニ増注スル酸化水素鞴之類ナリ）價甚タ貴シ刱テ世ニ出テシ時ハ一瓦ニ付テ一弗ノ價ヲ取リシト云

側ニハ重サ二十五氏ニテ一牛印會ノ價アリ（牛印會ハ英國貨名、和蘭ノ十一牛爾甸、十一斯對弗爾ニ當ルト云）

五爾剌斯敦曰。此金ハ白金ト同ク溫素ヲ導ク甚タ微ニメ可鎚質ハ白金ニ優レリ但銅ニハ及バズ又靭性ヲ得ベシ巴爾剌曹母ヲ強キ無色ノ消酸ニ溶シ紅色發スルニ乘メ青酸須臾（第百九十四章ヲ加レバ沈澱ヲ生ス此澱五百度ノ熱ニ煆バ雷聲ヲ發ス然レドモ他ノ雷金類ニ較レバ靭撃頗ル緩ク消石瓦斯發セズ火光モ亦甚タ微弱ニメ暗處ニ非レバ見ヘズ○此金ハ黄金、白金、銀、銅、鉛ニ和シ復タ分離スベシ譬バ之ヲ消酸ニ溶シ其溶液ニ須臾硫酸鋇、鹽酸錫、青酸加里、苛性亞爾加里等ヲ加レバ沈澱ヲ生ス其澱ヲ煆バ白色金質ノ物ト爲ル吹管モ之ヲ鎔スル能ハズ燐、硫、砒ヲ加ヘ熔セバ流動ス

阿斯繆母

阿斯繆母ハ臭ノ義ナリ此金ノ酸化ハ烈臭アリ故ニ此名アリ

阿斯繆母ハ意利曺母ト同ク天南杜氏ノ創見ニ出千八百四年文化元年第五月龍動學校ノ會ニ天南杜氏。白金王水溶液ノ黒粉ニ苛性加里ヲ加テ煆キ此ニ某酸ヲ加テ蒸餾セシニ此酸化金。水ト共ニ滴セリ此金ハ質堅剛ニメ爍化シ難シ然ト酸化スル者ハ甚タ軟ニメ翅ニ水ニ溶解スルノミナラズ餾メ水ト共ニ出ルト精微油ノ如シ之ヲ此金ノ異性トス

蒲羅密烏母（ブロミウム）

浦羅密烏母ハ厄利斉亞ノ語ナリ此ニ惡臭ト譯ス

藕氏舍密云蒲羅密烏ハ千八百二十六年天政十九年拔刺爾度（ル・ド）氏。苦土ト合メ海潮。及海産植物。殊ニ舍微爾昆布（ヒジキ）ノ類ノ燒灰中ニ於テ創見セル元素ナリ帶黒深赤色ノ液ナリ光明ニ中レバ透明ナル紅瑪瑙色ノ液ト爲ル不佳ノ臭氣アリテ酸化藕魯林ノ臭ニ似テ更ニ烈シ味甚タ苛烈ニメ皮膚ヲ黄色ニ蝕ス又毒アリ一滴ヲ取テ鳥咪ニ點スレバ其鳥卽チ斃ル零度ノ寒ヲ以テ尚凍結セズ濛氣常温ヲ以テ蒸散シ百六十度ヲ以テ暗金黄ノ烟ヲ發メ煮沸ス烟ハ火焰ヲ吹滅ス水。亞爾箇兒。亞的兒ニ和ス勒佉母斯紙。及藍澱



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ノ色ヲ消褪スルト藕魯林ノ如シ

得蒲羅密烏母法

鹽酸曹達ノ母滷ニ藕魯林尼斯ヲ通スレバ滷黄色ヲ生メ蒲羅密烏母分離ス之ニ亞的兒ヲ加テ振蕩スレバ蒲魯密烏母亞的兒ニ溶解メ深紅瑪瑙色ヲ生ス其液ヲ緊口玻壜ニ盈メ塞メ靜定スレバ亞的兒ト母滷ト分レ亞的兒中ニ蒲魯密烏母アリ此ニ精製加里ヲ加レバ加里ト蒲魯密烏母ト結テ晶ヲ爲ス其晶ヲ研末シ酸化滿俺ヲ和メ玻璨ノ列篤爾多ニ納レ水半分ヲ和タル硫酸ヲ注キ微火ニテ藕氏舍密云蒲羅密烏ハ千八百二十六年文政九年拔剌爾度氏舍微爾昆布ト合メ海潮及海産植物殊ニ昆布ノ類ノ燒灰中ニ於テ創見セル元素ナリ帶黒深赤色ノ液ナリ光明ニ中レバ透明ナル紅瑪瑙色ノ液ト爲ル不佳ノ臭氣アリテ酸化藕魯林ノ臭ニ似テ更ニ烈シ味甚タ苛烈ニメ皮膚ヲ黄色ニ蝕ス又毒アリ一滴ヲ取テ鳥咪ニ點スレバ其鳥即斃ル零度ノ寒ヲ以テ尚凍結セズ濛氣常温ヲ以テ蒸散シ百六十度ヲ以テ暗金黄ノ烟ヲ發メ煮沸ス烟ハ火焔ヲ吹滅ス水亞爾箇兒亞的兒ニ和ス勒佉母斯紙及藍澱



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ノ色ヲ消褪スルニ藤魯林ノ如シ

得二蒲羅密烏母一法

鹽酸曹達ノ母滷ニ藤魯林亦斯ヲ通スレバ滷黄色ヲ生ズ蒲羅密烏母分離スル之ニ亞的兒ヲ加テ振蕩スレバ蒲魯密烏母亞的兒ニ溶解メ深紅瑪瑙色ヲ生ス其液ヲ緊口玻壜ニ盈タメ塞メ靜定スレバ亞的兒ト母滷ト分レ亞的兒中ニ蒲魯密烏母アリ此ニ精製加里ヲ加ヘバ加里ト蒲魯密烏母ト結テ晶ヲ爲ス其晶ヲ研末シ酸化滿俺ヲ和メ玻璨ノ列篤爾多ニ納レ水半分ヲ和タル硫酸ヲ注キ微火ニテ餾スレバ蒲魯密烏母亞的兒ヲ受器ニ出

又法　曹達（ソウダ）德華（アー）列斯（レス）下品曹達ノ名ノ母滷ハ伊阿曹母ヲ含ミ又蒲魯密烏母ヲ含ム此滷ヨリ蒲魯密烏母ヲ取ル法ハ此滷ニ銅鹽（按ニ硫酸銅醋酸銅ノ類）ノ溶液ヲ和シ所含ノ伊阿曹母ヲシテ伊阿陣銅トシテ分去（チ）リ余液ヲ蒸散ノ酸化滿俺ヲ加ヘ稀硫酸ヲ注キ前法ノ如ク蒸餾ス

蒲魯密烏母酸　アシヂム、ブロミキム、ブロミウム、ブロール

蒲魯密烏母酸重土ヲ水ニ溶解シ硫酸ヲ加テ其重土ヲ硫酸重土トシ盡シ上清ヲ緩火ニ煮テ稠厚ト





国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ス卽此酸ナリ○此酸ハ全ク水分ヲ脫スルヿ能ハズ唯舍利別ノ稠ニ至ルベキノミ清冽ニメ臭無ク酸味甚シ然ヒ侵蝕セズ勒佉母斯紙ニ點スレバ初ハ紅變シ後ニ色褪ス○一千分ハ蒲魯密烏母六百五十一分。酸素三百四十九分ニ成ル

蒲羅密烏母鹽類　ブロマテス　ミ。ウスソ。ウテン

蒲羅密烏母ニ亞爾加里液或、亞爾加里拔塞斯按ニ加僧母、曹曺母、拔僧母ノ類ヲ和スレバ鹽類ヲ成ス此鹽ハ水ニ溶ケ難ク沸湯ニハ溶易シ熾紅スレバ酸素ヲ發ス

伊阿曺母

イオデ。ウム　ケルプストフ結爾布素ヒヲレツトス　トフ菫花色素○此素ノ蒸氣菫花色ナルニ因テ達喜氏、伊阿曺母ト名ク

藕氏舍密云。伊阿曺母ハ千八百十一年文化八年格烏爾對斯氏曹達。埃。華列斯出前ノ母滷中ニテ創見セル元素ナリ　宓多兒藥論ニ千八百十三年ニ作レリ天生游離ノ者無シ亞爾加里金屬曹曺母等ニ和合メ海産動植。就中舍微爾出前ノ海綿。某種ノ石鹽灰中ニ多シ海潮ニハ未タ之ヲ含ム者ヲ見ズ○伊阿曺母ハ晶芒ヲ爲メ灰青色藥論云形狀石墨ニ類ス金屬ノ光輝アリ片々葉狀ヲ爲シ異重四又九四六二等シ藕魯林ノ臭アリ味澁斂ス氣中水中ニ在



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

テハ大氣ノ常温ニテ飛散スル百八十度ノ温ニ烊化シ三百五十度ノ熱ニテ煮沸シ豔麗ナル菫花色ノ霧氣ヲ爲ス霧氣異重。ハ又六九五ニ等シ蒲苦澁爾氣、菫花色ヲ爲スハ大氣此ニ和スル故ナリ之ヲ驗氣管内、頭上無氣ノ處ニ置テ熱ヲ加ヲ蒸氣ト爲セバ其色無シ人ノ皮膚。紙等ノ物ニ點ノ深黄痕ヲ作シ植物ノ色ヲ消褪スルヿ藤魯林ノ如シ」越素ヲ導カズ水ニ溶難シ水一千分此素僅ニ一分ヲ溶ス亞爾箇兒。亞的兒ニ溶解ス」

得伊阿曹母ノ法

曹達。垤。華列斯ノ母鹵ヲ煮テ乾シ此乾鹽ヲ伊阿陣曹母ト名ク硫酸少許ヲ注キ輕ク温テ勉テ鹵鹽内所含ノ鹽酸ヲ飛散セシメ而後酸化滿俺ト多分ノ硫酸ヲ加テ玻璨ノ列篤爾多ニテ餾スレバ美紫色ノ蒸氣。受器ニ出凝テ伊阿曹母ト爲ル」製法ノ理ハ鹽酸曹達ヨリ藤魯林ヲ得ル法理ニ同シ第百二十一章

伊阿曹母酸　伊阿曹母ハ藤魯林及蒲羅密烏母ト同ク酸素ト親和甚タ緊切ナラズ僅ニ他素ノ媒妁ニ賴テ暫ク之ト混合スルノミ○伊阿曹母酸。亞全ノ二種アリ亞伊阿陣酸アシヂュム、イオドシュム、イオヂク、シュールハ暗橙色ノ液ニメ伊阿曹母ハ十分。酸素二十分ニ成リ全伊阿陣酸アシヂュム、イオヂキュムハ流動セズ白色



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

半通光ノ體ヲ爲ス伊阿曺毋七十五分又八。酸素二
十四分又二ニ成ル○此他伊阿曺毋ノ和合物多シ
外篇ノ尾ニ譯載ス

○穴多兒藥論云、伊阿曺毋ハ撦應德多始テ此ヲ醫
藥ニ用ヒ、瘰癧腺腫、卽耳腺、乳房、睾丸ノ硬腫ヲ治ス
ルニ良功ヲ稱ス、然ヒ甚タ細慎メ用ヒ、且熱及衰弱
ヲ兼ル症ニハ此ヲ禁ス、又連綿長服シ、甚タ多量ニ
與レバ胃及胃管ニ燃衝ヲ發シテ神經ノ諸症、勞瘵
起發ノ症、羸瘦ヲ發ス、丸藥或丁幾劑トシ、八分氏至
一氏ヲ曰ニ兩次用ヒ、或軟膏トメ外敷ス○伊阿曺
毋丁幾劑ハ伊阿曺毋四十八氏ヲ三十五度ノ燒酒
一弓ニ溶ス、二十滴中ニ伊阿曺毋一、氏ヲ含ム、大人
八十滴ヲ沙糖水一盞ニ和シ、日ニ二三次用ヒ、漸ニ加
テ每服二十滴ニ至ル、尚藥論ニ詳ナリ○撦私按ニ
中葉以來、海綿黑灰ヲ瘰癧、腺腫ニ用ヒ撦歇蘭度、特
ニ其奇効ヲ稱ス、備ニ和蘭藥鏡ニ載ス其解凝ノ効
ハ恐ラハ海綿所含ノ伊阿曺毋ニ在ン、此臆見ヲ記メ後

ノ君子ニ問フ

撦列紐毋

穴氏舍密云撦列紐毋ハ千八百十七年文化十四年別爾
入略。厄里布斯波爾撲ノ專匠家ニテ製セル硫酸ノ
滓脚ヲ分離メ偶ミ發明セル元素ナリ性質大抵硫
黃ニ似タリ銀及銅ニ和メ鑛ヲ爲ス者アリ又火ニ
焚〇撦列紐毋ハ鎔化メ徐ニメ鉛蒼色光輝無シ破裂ノ處栗紋アリ卒ニ冷ス
者ハ面滑澤金光アリ深赭赤深ク破裂ノ處光アリ
テ玻瓈ノ如ク亦鉛蒼色ナリ質甚タ剛カラズ碎末



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

ニ易シ百七十度ノ熱ニ柔軟シ二百十二度ノ熱ニ半流動シ其以上ノ熱ニ全ク鎔化ス鎔化ヨリ冷定ニ至ル間久ク軟ナリ引ケバ縷ヲ引テ絨書紫鉀錠ノ如シ之ヲ燈光ニ映スレバ殷紅ニ通明ス異重四又三ニ等シ○蓋器ニテ熾紅スレバ涼沸メ黄烟ヲ噴發ス烟器内ノ冷處ニ觸レバ凝テ黒粒ヲ爲ス此烟大氣ニ中レバ銀朱色ノ粉ト爲ル開器ニテ暇ガ空晴色ノ焔ヲ發メ焚ヘ蘿蔔ノ臭アル瓦斯ト爲テ散ス

加羅布邏多云、的爾律倫母亦窩蘿蔔ノ臭アリ

攝列紐母酸　アシヒレニウム、セレニウム、テールニモ

攝列紐母酸ハ攝列紐母ニ酸素瓦斯ノ内ニテ焚シ或ハ消酸或消鹽酸ニ煮レバ攝列紐母酸ト爲ル」此酸昇華メ白色四面針柱（第十四圖ノ匡）ヲ爲シ蒸散メ結ブ晶ハ長キ條理アル柱ヲ爲メ消酸加里ノ如シ酸味舌ヲ燻キ水ニモ亞爾箇兒ニモ溶解ス○別爾入略曰攝列紐母七一二六。酸素二八七四ニ成ル

舍密開宗内篇巻十五終



国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

特 1
855



第三十圖

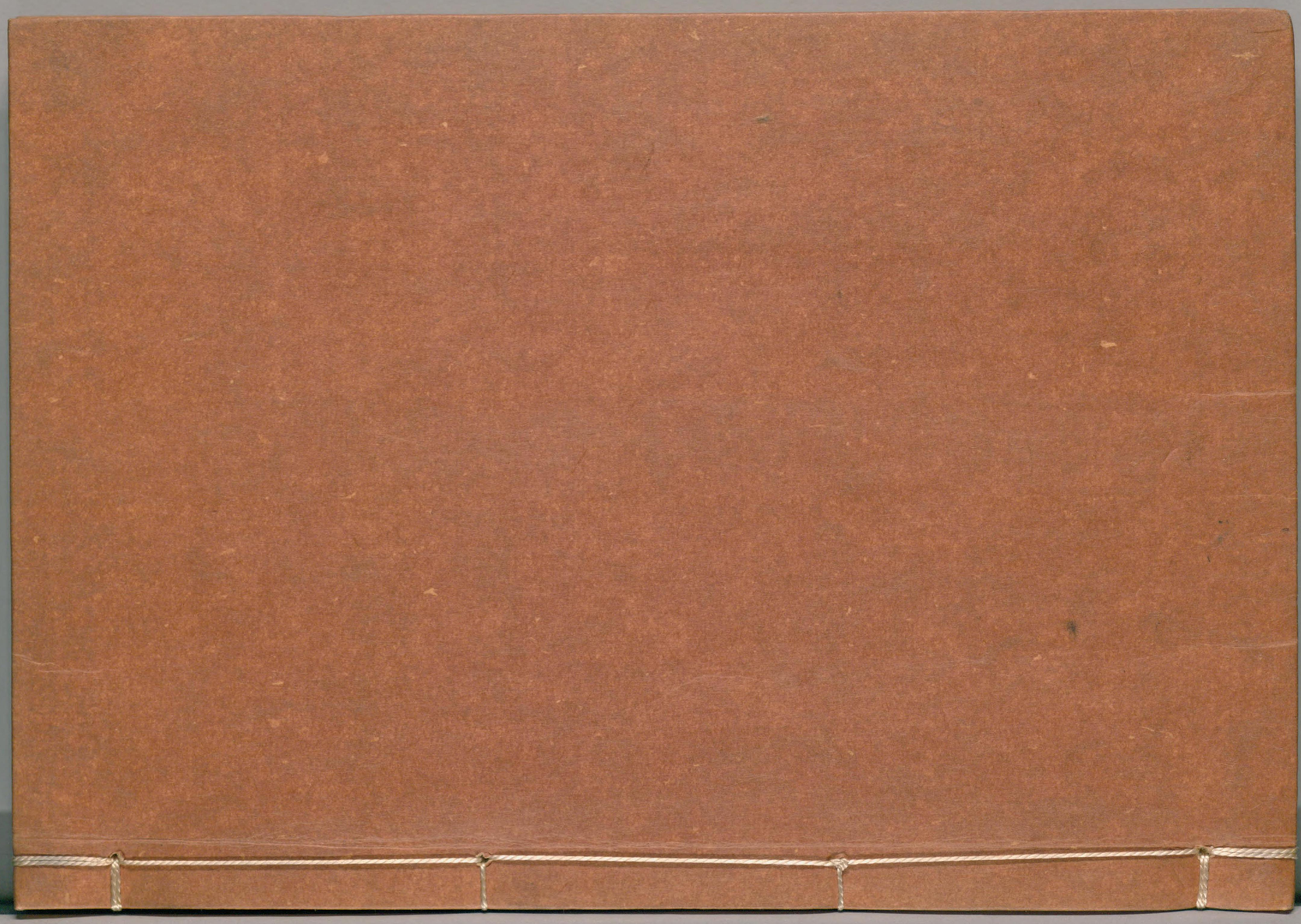
酸化滿俺　蒲呂印斯的印

国立国会図書館　タイトル『舍密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855
ガラス使用

特1
855

国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855

ガラス使用



ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『舎密開宗 内篇1-18外篇1-3』 請求記号 特1-855